

一般社団法人 北海道計量協会
創立100周年記念誌

100th anniversary

歴史をつなぐ
輝くこれからの未来へ…



一般社団法人 北海道計量協会



目次

1. ごあいさつ	
一般社団法人北海道計量協会 会長	本郷嘉彦 …… 3
2. お祝いのお言葉	
北海道知事	鈴木直道 …… 4
一般社団法人日本計量振興協会 会長	鍋島孝敏 …… 5
北海道計量検定所 所長	森永泰三 …… 6
3. 回想	
一般社団法人北海道計量協会 元会長	山本諭 …… 7
旭川計量機（株）代表取締役 （一般社団法人北海道計量協会副会長）	茶木拓治 …… 8
（有）函館カーサービス代表取締役 （北海道計量協会函館支部 支部長）	工藤勝 …… 9
一般社団法人北海道計量協会 前専務理事	中村順一 …… 11
4. 北海道計量協会のあゆみ（変遷）	…………… 13
5. 北海道計量協会の主な事業	…………… 49

6. インタビュー（土谷令次（前）一般社団法人北海道計量協会長）	57
7. 計量関係法令（計量法・施行令・施行規則等）の改正の動き	61
8. 計量記念日事業 ポケットティッシュ図案の変遷	67
9. 一般社団法人北海道計量協会役員名簿	85
10. 表彰者一覧表（東北六県・北海道計量協会連合会会長表彰） （（一社）日本計量振興協会会長表彰） （経済産業大臣表彰）	95
あしがき（編集後記）	
一般社団法人北海道計量協会専務理事 星 昌 浩	99



（*計量単位は原器に基づく定義から物理定数による定義に変更された。キログラムはプランク定数による原子の数の質量となる。2019.5）

ごあいさつ



「北海道計量協会100周年記念誌 発刊にあたって」

一般社団法人北海道計量協会

会 長 本 郷 嘉 彦

2020年のお正月は、青山学院大学が2年振りの総合優勝で幕を閉じた箱根駅伝、この競技が始まったのが1920年（大正9年）2月のことです。「第1回四大校駅伝競走」の名称でした。

同じくこの年の6月、札幌時計台での設立総会を経て、日本度量衡協会北海道支部が尾崎道庁内務部長を初代支部長として北の大地に誕生しました。それから100年。先人の思いを引き継ぎながら脈々と歴史を積み重ねてまいりました。

その後、昭和27年に北海道計量協会となり、昭和43年に社団法人化、平成25年に公益法人法の改正により一般社団法人となって今に至っております。

この間、平成2年には、先輩諸氏がそれまでの当協会70年の歴史やそれ以前の北海道のはかりの歴史を紐解き「計量七十年のあゆみ」を刊行しております。

本記念誌におきましては、サブタイトルとしましたように、過去を振り返りながらも未来に向けて進んでいこうという願いを込めております。

当協会は、本会の設立目的でもあります「適正計量の確保」や北海道や札幌市の指定定期検査機関として、また、郵政の管理業務の受託など質量計の定期検査を中心として、公益的な事業の推進に取り組んできました。これらは行政機関や関係業界の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。また、限られた人員でこの広い北海道を隅々まで検査に出かけている職員に対しても感謝するところです。

設立100周年を迎え、これまでの当協会に対するご支援やご厚情に感謝いたしますとともに、今後とも、これまで以上の叱咤激励を賜りますことをお願い申し上げます。未来に向けて、適正計量の推進のためにより一層真摯に取り組んでまいります。

終わりになりますが、本記念誌にご寄稿を頂いた関係各位を始め、これまで当協会を支えて頂いた会員各位、短期間で本記念誌の作成に取り組んだ実行委員の皆様に対し、感謝を申し上げご挨拶といたします。

お祝いのお言葉



「発刊に寄せて…」

北海道知事

鈴木直道

（一社）北海道計量協会が創立100周年を迎えられ、これまでの歩みを綴られた記念誌を発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、大正9年に「日本度量衡協会北海道支部」として設立されて以来、長きにわたり正しい計量知識と計量思想の普及啓発に努めるとともに、計量業務に携わる人材の育成・確保に取り組むなど、本道の社会経済の発展に大きく貢献してこられました。

これもひとえに本郷会長をはじめ歴代の会長並びに関係者の皆様のたゆみないご努力の賜であり、心から敬意を表します。

さて、道では、人口減少の進行に伴う地域活力の低下や人手不足の深刻化など多くの課題に直面する中、世界にはばたく北海道ブランドの発信力強化や地域と未来を支える活力ある産業づくり、地域経済をけん引する人材の育成・確保に全力で取り組んでいます。

計量制度は経済活動を支える基本的なインフラとして、本道の発展に欠かせないものであると考えており、今後とも、適正な計量行政の推進に対する貴協会の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

貴協会の皆様におかれましては、この度の100周年をさらなる活動の出発点とされ、豊かで快適な生活の実現に向け、一層のご尽力をいただきますことを心からご期待申し上げます、お祝いのことばとします。

お祝いのお言葉



「北海道計量協会の設立100周年 記念誌の発刊を祝して」

一般社団法人日本計量振興協会

会 長 鍋 島 孝 敏

北海道計量協会が、設立されてから100周年を迎えられ、記念誌を発行されますことを心からお祝い申し上げます。

北海道計量協会は、1920年（大正9年）6月に当会の前身である日本度量衡協会（1911年設立）の北海道支部として設立され、100年の長きにわたって、メートル法の統一運動や計量法の遵守、計量知識の啓発、計量器の検査等の協会事業運営を通して北海道計量界の屋台骨を支えてこられたことに敬意を表します。

また、日本度量衡協会が1951年（昭和26年）に（社）日本計量協会に、その後2000年（平成12年）に（社）日本計量振興協会に名称を変更してから現在に至るまでは、当会の有力会員として、計量の自主管理の推進、日本郵政グループの計量管理受託事業の実施、計量に関する普及啓発の実施等当会の事業にご支援、ご協力を賜り誠に有難うございます。

また、更に、1952年（昭和27年）8月東北・北海道計量協会連合会の発足後、現在に至るまで、北海道計量協会は東北6県計量協会と協調・連携し、地区ブロック計量協会連合会活動を主導し推進してこられております。

ところで、昨今の計量団体を取り巻く環境は、会員の減少と計量士の高齢化が全国共通の喫緊の課題になっています。

また、ご承知のように、計量制度（政省令）改正により、指定検定機関の創設や自動はかりの特定計量器への追加等の方向性が打ち出されております。

北海道計量協会におかれましても、今後の中長期的な課題として、新しい制度への対応のため、時代のニーズに対応した事業の創出と自動はかりの計量管理及び検定の業務を実施できる若手計量士の育成が重要になることと考えます。

地区の課題は運命共同体である当会の課題でもありますので、意見交換や連携の場を通して今後の有効な対応を図って参りたいと考えますので、よろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人 北海道計量協会が、設立100周年を契機としてこれまでの活動を生かして、更なる発展に向けた一層のご尽力をされることを期待するとともに、皆様方の益々のご繁栄を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

お祝いのお言葉



「北海道計量協会の100周年に寄せて」

北海道計量検定所

所長 森 永 泰 三

このたび北海道計量協会が創立100周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。これまで、北海道の計量行政につきまして多大な支援ご協力をいただいていることに対して、深く敬意を表するとともに厚く感謝いたします。

貴協会が創立した大正9年から、元号が昭和、平成そして令和に変わるなか、経済活動、技術革新により計量を取り巻く状況は大きく変化しており、中でも令和元年5月20日には、SI基本単位である7つの単位のうち、人工物の原器に頼っていた最後の単位であるキログラムが、物理定数での定義に改定となったことが大きなニュースになったところです。

貴協会は、平成18年から指定定期検査機関として北海道から大型はかりの定期検査業務を受託され、全道の大型はかりの精度維持に寄与されているほか、各種研修講座、講習による計量知識の向上、さらには、計量ふれあい広場の開催など計量思想の普及啓発にも努めており、道内計量業界の発展に多大なる貢献をしているところです。これも偏に北海道計量協会の運営に携わってこられた、会員の皆様や関連団体の方々の努力とご支援があったからこそと考えられます。

私が計量検定所に配属され、最初に計量制度は貨幣制度と並び経済活動の根幹をなす制度であり、計量というものが私たちの生活にとって必要不可欠なものであることを再認識しました。たとえば新型コロナウイルス感染症対策のため延期にはなりましたが、オリンピック、パラリンピックでは、長さ、質量、時間などの計測が必要であり、計量制度がなければ大会そのものが成り立ちません。

そして、計量制度を保つために多くの人々が携わり、尽力されていることにも改めて気づかされるとともに、貴協会が果たしている役割も大変大きいものだとう理解することが出来ました。

創立100周年という節目を迎え、今後とも計量法の目的である「適正な計量の実施」、「経済の発展及び文化の向上」に寄与されることを期待申し上げる次第です。最後に、会員の皆様のご健勝と、貴会のますますのご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



「計量協会 創立100年のあゆみ…」

一般社団法人北海道計量協会

元会長 山 本 諭

日本度量衡協会北海道支部として設立し、本年百周年を迎えられます事、まず以て誠におめでとうございます。これまで永年に亘る先人の並々ならぬご努力・英知の結集の賜物かと存じます。また、現在、一般社団法人としてもしっかりと協会運営をなされ、ご同慶の至りであります。

少し振り返ってみますと、小生が協会の一端を担わせて頂きました時期、規制緩和に依る会員数の減少や北海道（大型ばかり）及び札幌市の指定定期検査機関として委託業務に対応せざるを得ない状況下にありましたが、当時の関係者一同の思い、そしてご尽力に依り何とか難局を切り抜けたかと存じます。

今後も業界を取り巻く環境は内外ともに厳しく、それに伴い課題も山積みかと存じますが、どうぞ百周年の歩を再確認なされ、次代に向けた第一歩を踏み出され、益々ご発展されます様お祈り申し上げます。



「北海道計量協会 創立100周年にあたって…」

旭川計量機(株) 代表取締役
(一般社団法人北海道計量協会 副会長)

茶 木 拓 治

北海道計量協会は前身である日本度量衡協会の北海道支部として誕生以来、今年6月22日で創立100周年となります。計量業界に身を置くものとしてこの間ご苦労いただいた先人、諸先輩に感謝申し上げますとともに、関係の皆様にお祝い申し上げます。

平成2年に記念誌「計量70年のあゆみ」が刊行され、設立時からの歴史資料、回顧録などが記載されています。編集後記に発刊まで10年を要したとあり280頁に及ぶ大作には、大正9年の北海道支部設立時の機運と関係者の並々ならぬ熱意が伺えます。

この100年を私見ながら三つに分けて見えています。発足から終戦までの30年、続いて昭和26年の計量法の公布からメートル法への完全移行、高度成長のピーク、平成4年までの40年、残りは平成5年の新計量法発布から現在までの30年です。それぞれ時代の要請により、協会の役割また在り様の変遷をたどってきました。初め二つは富国強兵の時代、経済産業発展の時代と言えます。ここは「計量70年のあゆみ」にお任せし、三つ目の30年を振り返り、次代を展望したいと思えます。

この30年は行財政改革、経済情勢、社会環境の変化の中、計量を取り巻く環境も大きく変わりました。平成5年施行の新計量法は産業の育成から消費者保護へ、規制や取り締まりから自己責任へと法の根幹で発想を転換し大きく舵を切ったと感じます。さらに計量行政は地方分権一括法で国から地方自治体、北海道では道と8つの特定市の自治事務となりました。また計量器の製造修理販売事業者は登録制から届出制に移行し、会員の減少の一因ともなりました。

全国の計量3団体、計量協会、計量士会、計量管理協会が一般社団法人日本計量振興協会に統合、同じく当会も北海道計量士会を除き統合しました。また道および札幌市より指定定期検査機関の指定を受け、検査事業により協会の安定化が図られ、さらに社団法人の見直しにより一般社団法人化への移行も、結果順調に進みました。携われご尽力頂いた関係各位に謝意を表したいと思えます。

「正確な計量が経済産業の発展と社会の公正安定に寄与する」という計量思想の普及活動は日本度量衡協会設立時からの普遍的なテーマとして今に引き継がれています。今後とも計量協会は計量というインフラの重要性がハードからソフトへと発展し、IT化や情報化がますます重要視される中、これからの時代を先取りした「計量思想」の普及の役割を担っていくものと期待しています。



「計量は、欠くことのできないもの…」

(有)函館カーサービス 代表取締役
(北海道計量協会函館支部長)

工 藤 勝

計量は、私たちの暮らしや経済産業活動などあらゆる分野において欠くことができない重要なものです。

わが国においては、この計量が適切かつ合理的に行われるよう、古くから計量の制度化が行われましたが、特に明治以降、国際化・技術革新への対応等順次整備され現在の計量法は、平成5年それまでの計量法が大改正されたもので、計量の基準としての計量単位（国際単位を採用）、計量器の検査制度等適正な計量の実施を確保するための措置などが規定されています。

そのような激動の中において、この度、（一社）北海道計量協会が、前身である日本度量衡協会北海道支部（大正9年6月）として発足してから今年で、創立100周年の記念すべき節目を迎えることができましたことに、会員の皆様と共に心からお祝い申し上げます。

これはひとえに、歴代の会長をはじめ役員、会員の皆様の熱意と不断の努力はもちろんのこと、関係官公庁、関係団体の皆様方のご指導、ご協力、ご支援の賜物であると深く敬意を表する次第でございます。

この間、高度経済成長、オイルショック、バブル経済とその崩壊、地球規模での温暖化の進行等、産業を取り巻く社会情勢も大きく変化してまいりましたが、（一社）北海道計量協会の皆様におかれましては、この厳しい社会情勢のニーズと会員を含めた北海道民の期待に応えるため、組織の強化を図るとともに革新技术情報をいち早く入手し、北海道内の様々な産業の発展にご尽力されてこられました。

さて、当協会は、計量の知識と計量思想の普及を図り、経済の発展及び文化の向上に寄与し、計量管理を通して企業の合理化、品質の改善、および適正な取引、安全確保等に努めており、会員さらには北海道の産業経済の発展に寄与してきたものと自負しております。

私も本会理事及び函館支部長として計量に携わらせていただいておりますが、今後におきましても、当地、函館が北海道の計量の発祥地であることを一つの誇りとして、函館市、函館市計量協議会、及び函館消費者協会等の連携・協力を基礎に、これまでの過去から継続展開してきている

- ・函館市計量モニター制度支援活動
- ・「消費者まつり消費生活展」に計量啓発コーナー出展
- ・「計量のひろば・計量展」の開催
- ・「家庭用計量器の精度確認巡回検査」
- ・啓発用ポケットティッシュ 1000個配布

等の計量普及活動を通じて、計量知識の向上と会員の相互の交流を図って行きたいと考えています。

さらに、今後とも激動する社会的変化に的確に対応し、社会生活における適正計量の推進のための計量思想の普及と取引の安全確保に惜しみない努力ときっかけづくりを、なお、一層進める必要があると強く感じております。

そのためには検定所・計量士会を始めとする関係機関との連携をこれまで以上に深め、会員相互のネットワークをより強固に促進し、計量ファンの誘発とこれからの計量を担う人材の育成と確保が、大きな課題であるものと考えます。

最後に記念誌の作成に携わってくださった事務局の方々、いろいろとアドバイスを頂きました検定所の方々、記念誌の作成にご協力いただいた会員の皆様に厚く御礼を申し上げますと共に、会員各社及び当協会のますますの発展と飛躍を祈念いたしまして、創立100周年のお祝いの挨拶とさせていただきます。





「創立百周年に寄せて 一絆と信頼の未来へ」

一般社団法人北海道計量協会

前専務理事 中村 順 一

北海道計量協会が新たな令和の時代に創立百周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

私が協会に在籍したのは、平成26年からの僅か5年ではありますが、協会が大正9年の創立以来、大正、昭和、平成の激動の時代を駆け抜けた百年の重みは極めて感慨深く、会員及び役職員始め、並々ならぬ努力を積み重ねた先達への深い尊敬の念を抱かずにはいられません。重ねてお祝い申し上げます。

さて、勤務の5年間で少しだけ振り返りますと、やはり入職時が思い起こされます。「協会」はおろか「計量」の知識も皆無の中で、着任後直ちに決算や理事会、定時総会を迎え、さらに七年に一度の「東北・北海道計量大会」の準備に追われたことは鮮明に記憶しております。まさに五里霧中、無我夢中の一年でした。その後も、会員の減少や人材の確保、健全財政の維持などの課題を抱え、微力であるが故に悩むことも日常でありました。

このような状況にあっても卒業まで辿り着けたのは、ひとえに役員の方々の理解と協力、そしていかなる時も仕事に真摯に取り組み、力を貸してくれた職員の存在がありました。私は「物の重さ」を計る仕事を通じ、改めて「人の重さ」に気づかされ、また、環境変化の著しい計量業界における「協会の重さ（役割）」を考えさせられる機会を得ました。力及ばずながらもいい経験をさせていただき、心から感謝しております。

協会の目的には、計量の普及啓発や適正計量の推進、計量関係者の連携等による本道経済の発展とあります。その精神は、百年前の創立時もこれからも大きく変わることはないと思います。百周年を機に会員の「絆」を一層深め、誰からも「信頼」される協会として、道民が安心して暮らせる社会を下支えされるよう、心からお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

一般社団法人北海道計量協会
創立100周年にむけて・・・

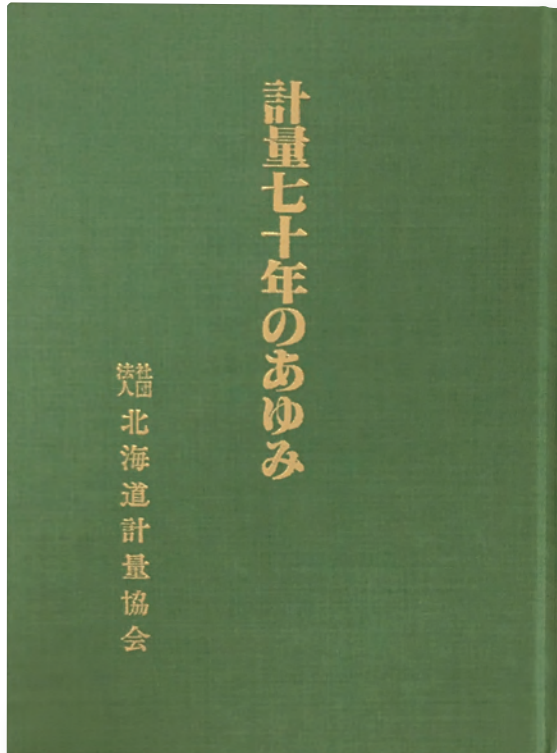
計量協会のあゆみ(変遷)

おことわり・・・

本編の「計量協会のあゆみ(変遷)」は、平成2年6月に発刊した「計量70年のあゆみ」(次頁参照)を引き継ぐものとして、平成時代からの30年分を編集したものです。

100th
anniversary

◎これまでの計量協会の歴史概要（平成年代以前）



「計量70年のあゆみ」（平成2年6月発刊）

大正9年6月

日本度量衡協会（明治43年7月7日設立）北海道支部として発足しました。

大正10年4月

東北6県支部連絡協議会に参画しました。

昭和27年4月

日本度量衡協会北海道支部を解散、北海道計量協会を設立しました。

昭和27年8月

東北6県北海道支部連絡協議会を解消、東北・北海道計量協会連合会として発足しました。

昭和43年11月

社団法人北海道計量協会となりました。

平成16年4月

日本郵政グループの計量管理受託事業の検査を行っています。

平成18年4月

北海道の指定定期検査機関として、質量計（ひょう置1t以上で自重計を除く）の定期検査を行っています。

平成21年4月

札幌市の指定定期検査機関として、質量計の定期検査を行っています。

平成25年4月

一般社団法人北海道計量協会へ移行しました。

◎これまでのあゆみ・・・（設立目的等）

明治24年に我が国近代計量制度の根幹である「度量衡法」が制定され、計量の国家統一とともに、産業の基盤である度量衡器の製作、修復、販売等も全国統一が図られました。

日本度量衡協会北海道支部は、これらの事業者の団体として、法律の遵守、技術の向上、計量思想の啓発を図ることを目的として大正9年に設立されました。

発足当初は、事業者に対する法律の遵守を促すため、「会報」による周知が中心でありました。その後大正時代の後半からはメートル法の統一運動に努め、昭和時代に入り20年代までは、適正な計量器の供給に力を注いできました。

昭和26年に「度量衡法」が「計量法」になり、計量範囲の拡大や計量制度の民主化が図られました。

新しい制度を事業者をはじめ、広く道民に周知し、計量知識の啓発を行い、昭和31年には北海道メートル法期成実行委員会を結成し、昭和34年からのメートル法の完全実施に向けた活動も行ってきました。

その後も、時代に即した計量制度を目指し、計量法が幾たびか変わりましたが設立当初から一貫して、道民への計量知識の普及啓発に取り組むとともに、現計量制度が事業者に対して、大幅な規制緩和を行うと同時に、自己責任において事業を行い、管理する内容となっているため、計量の自主管理の推進にも努めています。

また、日本度量衡協会北海道支部の発足後、道内各地での部会設立の気運が高まり、大正9年から昭和にかけて16の部会が設立されました。現在も函館、十勝、札幌、室蘭、留萌部会（現在は支部）では、11月1日の計量記念日に合わせ、計量に関する普及啓発活動が行われています。

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成元年 (1989年)	<p>1月 改元して平成元年となる。</p> <p>5月 (社)日本計量協会第76次通常総会(東京都)</p> <p>6月 尺相当目盛付き長さ計の取扱改正</p> <p>10月 振動レベルの証明書に「計量証明」の語句を使用しても可。肥料及び飲料水、風速、透視度、電気伝導率、大腸菌群数には、計量法上の登録を要しない。非法定計量単位目盛の併記、輸入ほ乳瓶はml・ozは可</p> <p>11月 未検定の外国製はかり、型式承認を受け、検定を受けること。販売については登録を要する</p> <p>12月 郵政省委託小荷物取扱用はかりは、検定を受けたもので、定期検査の対象となる</p>	<p>2月 協会に組織強化委員会を置く</p> <p>7月 北海道計量大会と計量協会第21次通常総会(旭川市:ときわ市民ホール)</p> <p>7月 第1回東北六県北海道計量協会会長会議(宮城県)</p> <p>7月 東北北海道計量大会及び第38次東北六県北海道計量協会連合会総会(宮城県)</p> <p>8月 (社)日本計量士会北海道支部総会を札幌市(検定所会議室)で開催</p> <p>10月 第2回東北六県北海道計量協会会長会議(秋田市)</p> <p>11月 安保廣二顧問死去計量協会葬で送る</p> <p>11月 計量展・計量コーナーの開催協力(市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力)6市1町2企業</p>	<p>4月 計量検定所長 稲積 要吉氏就任</p> <p>6月 全国計量行政機関連絡会議(東京都)</p> <p>7月 東北・北海道地区計量行政協議会(宮城県)</p> <p>8月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議(福島県)</p> <p>9月 東北・北海道検定所次長等連絡会議(岩手県)</p>

年 代	日本計量振興協会・ 国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成2年 (1990年)	5月 (社)日本計量協会 第77次通常総会 (東京都)	6月 計量協会第22次通 常総会 (札幌市ポールスター札幌)	2月 第2回東北・北海道 計量技術連絡会議 (茨城県)
	7月 国際温度目盛の 改正 水の沸点100 ℃から99.974℃に 変更	6月 計量協会創立70周 年記念大会 (札幌市ポールスター札幌)	2月 北海道地区計量技術 会議 (釧路市)
	8月 通商産業大臣か ら計量行政審議会へ 「新時代における計 量行政の在り方」を 諮問 ①国際化への対応 ②技術革新への対応 ③消費者利益への対応	6月 「創立70周年のあゆみ」 記念誌発刊	4月 計量検定所長に東海 林勲氏就任
	10月 電圧基準器の起 電力の範囲の変更	7月 東北北海道計量大会 及び第39次東北六県北 海道計量協会連合会総会 (秋田市)	6月 全国計量行政機関連 絡会議 (東京都)
	11月 膜式ガスメータ ーの形式承認対象範 囲拡大 (5立方/hか ら7立方/h)	7月 第1回東北六県北海 道計量協会会長会議 (秋田市)	7月 東北・北海道地区計 量行政連絡会議 (秋田県)
		9月 計量協会組織強化対 策常任委員会	8月 第1回東北・北海道 計量技術連絡会議 (札幌市)
		10月 第2回東北六県北海 道計量協会会長会議 (岩手県)	9月 東北・北海道計量検 定所次長等連絡会議 (福島県)
		11月 計量展・計量コー ナーの開催協力 (市町村が主催する「消 費生活展」等に展示パネ ル、計量器及び体力測定 具を貸出し協力) 8市2 町1企業	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成3年 (1991年)	1月 計量行政審議会各専門部会 中間報告会開催 (東京都)	4月 計量協会組織強化対策常任委員会 (札幌市：計量検定所)	1月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議 (茨城県)
	2月 第1専門部会 検定検査制度のあり方・基準器検査のあり方審議 (東京都)	6月 計量協会第23次通常総会 (小樽市)	2月 北海道地区計量技術会議 (帯広市)
	3月 計量関係手数料の改正 第3専門部会 計量証明事業、法定計量単位、計量標準供給体制等審議 (東京都)	6月 計量制度100年記念「くらしと計量展」 (函館市)	6月 全国計量行政機関連絡会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量協会第78次通常総会 (東京都)	7月 東北六県北海道計量協会会長会議 (岩手県)	7月 東北・北海道地区計量行政連絡会議 (岩手県)
	9月 (社)日本計量協会事務担当者会議 (東京都)	7月 東北北海道計量大会及び第40次東北六県北海道計量協会連合会総会 (岩手県)	7月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議 (青森県)
	10月 全国社団法人地計協懇談会 (東京都)	9月 地方計量協会事務担当者会議 (長崎県)	9月 東北・北海道計量検定所次長等連絡会議 (札幌市)
	11月 計量制度100周年記念式典 (東京都) 天皇・皇后両陛下御臨席内閣総理大臣感謝状10名 通産大臣表彰78名	11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 6市1町1企業	9月 北海道地区計量行政連絡会議 (旭川市)
		10月 東北・北海道地区計量行政連絡会議 (福島県)	
		12月 計量技術研究会議 (東京都)	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成4年 (1992年)	1月 小泉袈裟勝経済博士（日本の計量史研究者）「ものさし」で学位授与	2月 東北6県北海道計量協会事務局長会議（岩手県）	2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議（茨城県）
	計量行政審議会に計量法改正案の概要提示	6月 計量協会第24次通常総会（室蘭市）	3月 都道府県計量行政協議会（東京都）
	3月 計量行政機関認定制度に関する懇談会 計量法全面改正法案国会提出	7月 東北北海道計量大会及び第41次東北六県北海道計量協会連合会総会（福島県）	3月 都道府県計量行政協議会臨時総会（東京都）
	4月 計量法改正法公布	7月 第1回東北六県北海道計量協会会長会議（福島県）	4月 計量検定所長 三橋 俊夫氏就任
	5月 (社)日本計量協会第79次通常総会（東京都）	7月 第2回東北六県北海道計量協会会長会議（洞爺湖町）	5月 計量法の公布（全面改定）
	9月 地方計量協会事務担当者会議（宮城県）	9月 地方計量協会事務担当者会議（宮城県）	7月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議（山形市）
	10月 計量全国大会（東京都）	11月 改正計量法説明会（11市で開催）～12月	9月 東北・北海道計量検定所次長会議（青森県）
	12月 気象庁：気圧の単位「ミリバール」から「ヘクトパスカル」に変更	11月 計量展・計量コーナーの開催協力（市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力）5市	9月 北海道地区計量行政連絡会議（釧路市）
			9月 新計量法説明会（宮城県民会館）〔通産省計量行政室〕
			9月 S I単位への移行について（計量研究所）
		10月 東北・北海道地区計量行政連絡会議（札幌市）	
		12月 都道府県計量行政会議 全国計量行政機関連絡会議（東京都）	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成5年 (1993年)	5月 (社)日本計量協会 第80次通常総会 (東京都)	2月 東北・北海道計量協 会事務局長会議 (福島市)	2月 第2回東北・北海道 計量技術連絡会議 (茨城県)
	9月 全国地方計量協 会 事務担当者会議 (新潟県)	5月 第1回計量協会組織 強化委員会 (札幌市KKR札幌)	3月 都道府県計量行政協 議会総会 全国計量行政機関連絡会 議 (東京都)
	10月 計量全国大会 (東京都) 計量記念日を6月7日 から11月1日に変更	7月 第65回北海道計量大会 (札幌市厚生年金会館)	4月 計量検定所長 片貝 強氏就任
		7月 計量協会第25次通 常総会 (札幌市厚生年金会館)	7月 第1回東北・北海道 地区計量行政連絡会議 (札幌市)
		7月 東北北海道計量大会 及び第42次東北六県北 海道計量協会連合会総会 (札幌市厚生年金会館)	8月 第1回東北・北海道 計量技術連絡会議 (宮城県)
		7月 第1回東北六県北海 道計量協会会長会議 (札幌市定山溪)	9月 北海道地区計量行政 連絡会議 (帯広市)
		7月 新計量法説明会 (札幌市健保会館) (国際単位系SI単位概要)	10月 計量法の全面改正に 伴い、計量検定所設置条 例の公布
		9月 第2回計量協会組織 強化委員会 (札幌市:計量検定所)	10月 第2回東北・北海道 地区計量行政連絡会議 (青森県)
		9月 地方計量協会事務担 当者会議 (新潟県)	10月 第2回地区世話人会 (広島県)
		10月 第2回東北六県北海 道計量協会会長会議 (青森市)	11月 計量法施行
		10月 計量記念日懸垂幕の寄贈 (新計量法公布記念に計 量検定所に計量記念日懸 垂幕2 旒を寄贈)	11月 計量検定所設置条例 の施行
		11月 計量展・計量コーナ ーの開催協力 (市町村が主催する「消 費生活展」等に展示パネ ル、計量器及び体力測定 具を貸出し協力) 5市1 町2企業	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成6年 (1994年)	2月 計量法説明会 (宮城県)	1月 新計量法説明会 (札幌市健保会館) (新計量法概要)	2月 第2回東北・北海道 計量技術連絡会議 (茨城県)
	3月 (社)日本計量協会 正副会長会議 総務・事業合同会議	2月 東北・北海道計量協 会事務局長会議 (札幌市厚生年金会館)	3月 都道府県計量行政協 議会総会 全国計量行政機関連絡 会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量協会 第81次通常総会 (東京都)	6月 第66回北海道計量大会 (岩内町)	4月 計量法第155条の規 定に基づく協議会 (札幌市)
	9月 全国地方計量協 会事務担当者会議 (三重県)	6月 計量協会第26次通 常総会 (岩内町)	7月 第1回地区世話人会 及び第1回総会 (東京都)
	10月 計量全国大会 (東京都)	8月 東北北海道計量大会 及び第43次東北六県北 海道計量協会連合会総会 (青森県)	7月 第1回全国計量行政 機関連絡会議 (東京都)
		8月 第1回東北六県北海 道計量協会会長会議 (青森県)	8月 第1回東北・北海道 地区計量行政連絡会議 (青森市)
		9月 地方計量協会事務担 当者会議 (三重県)	9月 第1回東北・北海道 計量技術連絡会議 (秋田県)
		10月 第2回東北六県北海 道計量協会会長会議 (山形県)	9月 東北・北海道計量検 定所次長等連絡会議 (宮城県)
		11月 計量展・計量コー ナーの開催協力(市町村が 主催する「消費生活展」 等に展示パネル、計量器 及び体力測定具を貸出し 協力) 2市1町2企業	9月 北海道地区計量行政 連絡会議 (室蘭市)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作 成・配布	10月 第2回東北・北海道 地区計量行政連絡会議 (山形県)
			10月 第2回地区世話人会 (大阪府)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成7年 (1995年)	5月 (社)日本計量協会 第82次通常総会 (東京都)	2月 東北六県北海道事務局 局長会議 (青森市)	2月 第2回東北・北海道 計量技術連絡会議 (茨城県)
	9月 全国地方計量協 会事務担当者会議 (北海道)	6月 第67回北海道計量大会 (釧路市)	2月 北海道地区計量技術 会議 (苫小牧市)
	10月 計量全国大会 (東京都)	6月 計量協会第27次通 常総会 (釧路市)	2月 臨時地区世話人会及 び第2回総会 (東京都)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター 作成・配布	7月 東北北海道計量大会 及び44次東北六県北海 道計量協会連合会総会 (山形県)	2月 第2回全国計量行政 機関連絡会議 (東京都)
		7月 第1回東北六県北海 道計量協会会長会議 (山形県)	4月 計量法第155条の規 定に基づく協議会 (札幌市)
		9月 地方計量協会事務担 当者会議 (札幌市定山溪)	6月 計量検定所長 黒龍 良英氏就任
		10月 第2回東北六県北海 道計量協会会長会議 (宮城県)	7月 第1回東北・北海道 地区計量行政連絡会議 (山形県)
		10月 計量主任者研修講座 (札幌市:札幌サンプラザ)	9月 第1回東北・北海道 計量技術連絡会議 (岩手県)
		10月 新計量法説明会 (札幌市:計量検定所) (新計量法概要)	9月 東北・北海道計量検 定所次長等連絡会議 (秋田県)
		11月 計量展・計量コーナ ーの開催協力(市町村が 主催する「消費生活展」 等に展示パネル、計量器 及び体力測定具を貸出し 協力) 2市1町2企業	9月 北海道地区計量行政 連絡会議(札幌市)
		11月 「計量展(計量ひろば) 計量パネル展」 (札幌市:北海道庁ロビー)	9月 第1回地区世話人会 及び第1回総会 (東京都)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作 成・配布	9月 第1回全国計量行政 機関連絡会議 (東京都)
			10月 第2回東北・北海 道地区計量行政連絡会議 (宮城県)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成8年 (1996年)	5月 (社)日本計量協会第83次通常総会(東京都)	3月 東北六県北海道事務局長会議(山形市)	2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議(茨城県)
	9月 全国地方計量協会事務担当者会議(京都市)	6月 計量協会第28次通常総会(北見市)	2月 北海道地区計量技術会議(函館市)
	10月 第2回(社)日本計量協会総会(地計協のあり方公益法人の設立及び監督基準)(東京都)	7月 第68回北海道計量大会(北見市)	2月 第2回地区世話人会(愛知県)
	10月 全国計量大会(東京都)	7月 東北北海道計量大会及び第45次東北六県北海道計量協会連合会総会(宮城県)	2月 臨時地区世話人会(東京都)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	7月 第1回東北六県北海道計量協会会長会議(宮城県)	3月 第2回全国計量行政機関連絡会議(東京都)
		9月 地方計量協会事務担当者会議(京都府)	4月 計量検定所長相原 務氏就任
		11月 第2回東北六県北海道計量協会会長会議(秋田県)	4月 計量法第155条の規定に基づく協議会(札幌市)
		11月 「計量ふれあいひろば」(札幌市：札幌市地下街オーロラスクエア)	7月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び第1回総会総会新法に基づく計量制度の連絡調整会議(東京都)
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力(市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 4市1町2企業	7月 第1回東北・北海道地区計量行政連絡会議(宮城県)
		11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布	9月 東北・北海道計量検定所次長等連絡会議(岩手県)
			9月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議(福島県)
			9月 北海道地区計量行政連絡会議(苫小牧市)
			10月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会(神奈川県)
		10月 第2回東北・北海道地区計量行政連絡会議(秋田県)	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成9年 (1997年)	5月 (社)日本計量協会第84次通常総会(東京都)	3月 東北六県・北海道事務局長会議(宮城県)	2月 都道府県計量行政協議会第3回地区世話人会及び第2回総会 全国計量行政機関連絡会議(東京都)
	9月 全国地方計量協会事務担当者会議(石川県)	3月 (社)日本計量士会東北・北海道地区計量士会(宮城県)	2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議(茨城県)
	10月 全国計量大会(東京都)	6月 第69回北海道計量大会(函館市)	2月 北海道地区計量技術会議(旭川市)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター 作成・配布	6月 計量協会第29次通常総会(函館市)	4月 計量法第155条の規定に基づく協議会(札幌市)
		7月 東北・北海道計量大会及び第46次東北六県北海道計量協会連合会総会(秋田県)	6月 計量検定所長 谷内 繁氏就任
		7月 第1回東北六県北海道計量協会会長会議(秋田県)	7月 第1回東北・北海道地区計量行政連絡会議(秋田県)
		9月 地方計量協会事務担当者会議(石川県)	9月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議(札幌市)
		11月 第2回東北六県北海道計量協会会長会議(岩手県)	9月 東北・北海道計量検定所次長等連絡会議(福島県)
		11月 「計量ふれあいひろば」(札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	9月 北海道地区計量行政連絡会議(小樽市)
		11月 「暮らしと計量パネル展」(札幌市:北海道庁ロビー)	9月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び第1回総会 全国計量行政機関連絡会議 新法に基づく計量制度の連絡調整会議(東京都)
		11月 「計量展(計量ひろば)」(函館市:函館市役所市民ホール)	10月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会(岩手県)
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 2市2企業	11月 第2回東北・北海道地区計量行政連絡会議(岩手県)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	11月 函館支所庁舎移転 (渡島合同庁舎(五稜郭町)から渡島総合振興局(美原)に移転)
			12月 第2回地区世話会で決定された地方分権についての調査グループの会議(東京都)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成10年 (1998年)	5月 (社)日本計量協会 第85次通常総会 (東京都)	2月 東北六県北海道事務局 局長会議 (秋田市)	1月 都道府県計量行政協 議会臨時地区世話人会 (東京都)
	10月 全国計量大会 (東京都)	3月 大型はかり検査用フ ォークリフト購入更新	2月 第2回東北・北海道 計量技術連絡会議 (茨城県)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター 作成・配布	6月 第70回北海道計量大会 (札幌市厚生年金会館)	2月 北海道地区計量技術 会議 (釧路市)
		6月 計量協会第30次通 常総会 (札幌市厚生年金 会館)	3月 第3回地方分権と計 量行政を考える会 (東京都)
		7月 東北北海道計量大会 及び第47次東北六県北 海道計量協会連合会総会 (岩手県)	3月 都道府県計量行政協 議会第3回地区世話人会 及び第2回総会 第2回全国計量行政機関 連絡会議 (東京都)
		7月 第1回東北六県北海 道計量協会会長会議 (岩手県)	4月 計量法第155条の規 定に基づく協議会 (札幌市)
		10月 第2回東北六県北海 道計量協会会長会議 (福島県)	5月 地方分権推進対策検 討会 (宮城県)
		11月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌市地下街 オーロラスクエア)	7月 第1回東北・北海道 地区計量行政連絡会議 (岩手県)
		11月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市：北海道庁ロビー)	9月 第1回東北・北海道 地区計量技術連絡会議 (青森県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：函館市役所市 民ホール)	9月 北海道地区計量行政 連絡会議 (函館市)
		11月 計量展・計量コーナ ーの開催協力 (市町村が主催する「消 費生活展」等に展示パネ ル、計量器及び体力測定 具を貸出し協力) 2市2 企業	9月 都道府県計量行政協 議会第2回地区世話人会 (札幌市)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作 成・配布	9月 東北・北海道計量検 定所次長等連絡会議 (札幌市)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成11年 (1999年)	<p>5月 (社)日本計量協会第86次通常総会 (東京都) 「計量三団体統合承認」(社)日本計量協会・(社)日本計量士会・日本計量管理協会が統合し平成12年4月1日より、(社)日本計量振興協会となる</p> <p>7月 全国地方計量協会事務担当者会議 (東京都)</p> <p>11月 全国計量大会 (東京都)</p> <p>11月 計量記念日 全国統一ポスター作成・配布</p> <p>12月 (社)日本計量協会第87次臨時総会 (東京都) (定款変更・名称変更)</p>	<p>2月 東北六県北海道事務局長会議 (岩手県)</p> <p>6月 計量協会第32次通常総会 (室蘭市)</p> <p>6月 第71回北海道計量大会 (帯広市)</p> <p>7月 第1回東北六県北海道計量協会会長会議 (札幌市定山溪)</p> <p>10月 第2回東北六県北海道計量協会会長会議 (福島県)</p> <p>10月 東北北海道計量大会及び第48次東北六県北海道計量協会連合会総会 (福島県)</p> <p>10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌市地下街オーロラスクエア)</p> <p>10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市：北海道庁ロビー)</p> <p>11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：函館市役所市民ホール)</p> <p>11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 3市2町2企業</p> <p>11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布</p>	<p>1月 第1回全国計量行政機関連絡会議 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び第1回総会 (東京都)</p> <p>2月 第2回東北・北海道地区計量行政連絡会議 (福島県)</p> <p>2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議 (山形県)</p> <p>2月 北海道地区計量技術会議 (小樽市)</p> <p>4月 計量法第155条の規定に基づく協議会 (札幌市)</p> <p>5月 計量検定所長 篠原 嘉明 氏就任</p> <p>5月 全国計量行政機関第1回ブロック代表者会議 (東京都)</p> <p>5月 臨時北海道地区計量行政連絡会議 (札幌市)</p> <p>6月 国際計量標準シンポジウム (東京都)</p> <p>7月 地方分権に伴う計量関係手数料条例に関する担当者会議 (宮城県)</p> <p>7月 北海道地区計量行政協議会及び計量行政連絡会議 (旭川市)</p> <p>7月 全国計量行政機関第2回ブロック代表者会議 (東京都)</p> <p>7月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会 (東京都)</p> <p>9月 全国計量行政機関第3回ブロック代表者会議 (東京都)</p> <p>9月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (福岡県)</p> <p>9月 東北・北海道計量検定所次長等連絡会議 (青森県)</p> <p>9月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議 (山形県)</p> <p>10月 第1回東北・北海道地区計量行政連絡会議 (福島県)</p> <p>10月 第1回全国計量行政機関連絡会議及び都道府県計量行政協議会第1回 総会 (東京都)</p> <p>10月 旭川支所庁舎移転 (独立庁舎 (東5-3) から上川総合振興局 (永山) に移転)</p> <p>11月 全国計量行政機関第4回ブロック代表者会議 (東京都)</p>

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成12年 (2000年)	4月 中央三団体の統合 (社)日本計量協会・(社)日本計量士会・日本計量管理協会が統合し、(社)日本計量振興協会として発足 初代会長 川田裕郎氏選任	2月 東北六県北海道計量協会事務局長会議 (福島県)	2月 北海道地区計量技術連絡会議 (帯広市)
	5月 (社)日本計量協会 第1回通常総会 (東京都)	5月 計量協会第33次通常総会 (札幌市厚生年金会館)	2月 全国計量行政機関緊急ブロック代表者会議 (東京都)
	7月 (社)日本計量振興協会地区協議会 (東京都)	7月 第1回東北六県北海道計量協会会長会議 (札幌市定山溪)	2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議 (茨城県)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	7月 東北北海道計量大会及び第49次東北六県北海道計量協会連合会総会 (札幌市定山溪)	3月 第2回全国計量行政機関連絡会議 都道府県計量行政協議会 第3回地区世話人会及び第2回総会 (東京都)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター 作成・配布	10月 第2回東北六県北海道計量協会会長会議 (青森県)	3月 「地方分権一括法」の制定に伴い、計量検定所設置条例の全面改正を行い計量検定所条例を公布
	12月 (社)日本計量振興協会第88次臨時総会 (東京都)	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌市地下街オーロラスクエア)	4月 計量法上の地方自治体の事務が、機関委任事務から自治事務に移行する
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市：北海道庁ロビー)	4月 計量検定所条例の施行
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：函館市役所市民ホール)	4月 計量法第155条の規定に基づく協議会 (札幌市)
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 5市1企業	5月 国際計量標準シンポジウム (東京都)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び第1回総会 (東京都)
			7月 東北・北海道地区計量行政連絡会議 (札幌市)
			9月 北海道地区計量行政連絡会議 (釧路市)
			9月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (徳島県)
		9月 東北・北海道計量検定所次長等連絡会議 (山形県)	
		9月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議 (宮城県)	
		10月 第1回全国計量行政機関連絡会議 (東京都)	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成13年 (2001年)	5月 (社)日本計量振興協会第2回通常総会(東京都)	2月 東北六県北海道事務局長会議(千歳市)	2月 北海道地区計量技術連絡会議(札幌市)
	11月 計量記念日全国大会(東京都)	6月 計量協会第34次通常総会(室蘭市)	2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議(茨城県)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	6月 第72回北海道計量大会(室蘭市)	2月 都道府県計量行政協議会第3回地区世話人会及び第2回総会(東京都)
		6月 組織等検討委員会設立(札幌市)	4月 計量検定所長 佐藤 和夫氏就任
		8月 東北北海道計量大会及び第50次東北六県北海道計量協会連合会総会(青森市)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議(札幌市)
		8月 東北六県・北海道計量協会会長会議(青森県)	5月 臨時都道府県計量行政会議(東京都)
		11月 「計量ふれあいひろば」(札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会(東京都)
		11月 「暮らしと計量パネル展」(札幌市:北海道庁ロビー)	6月 臨時都道府県計量行政会議(東京都)
		11月 「計量展(計量ひろば)」(函館市:函館市役所市民ホール)	8月 東北・北海道地区計量行政協議会(青森市)
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力(市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 5市1企業	9月 北海道地区計量行政協議会第2回会議(室蘭市)
			10月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会(広島県)
		11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布	10月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議(秋田県)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成14年 (2002年)	2月 「計量管理・計量士制度50周年記念式典」 (東京都)	6月 計量協会第35次通常総会 (旭川市)	2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議 (茨城県)
	5月 (社)日本計量振興協会第3回通常総会 (東京都)	6月 第73回北海道計量大会 (旭川市)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	7月 東北北海道計量大会及び第51次東北六県北海道計量協会連合会総会 (山形県)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 「指定定期検査機関制度の推進」会議 (東京都)	7月 東北六県・北海道計量協会会長会議 (山形県)	7月 東北・北海道地区計量行政協議会 (山形県)
	11月 地方行政機関と日計振との座談会 (東京都)	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	9月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (帯広市)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市:北海道庁ロビー)	10月 第1回東北・北海道計量技術連絡会議 (岩手県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市民ホール)	10月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (大阪府)
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 3市1企業	
		11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布	
		11月 東北六県北海道事務局長会議 (山形市)	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成15年 (2003年)	2月 第1回全国計量士大会 (東京都)	3月 東北・北海道地区計量協会臨時計量協会長会議 (宮城県)	2月 第2回東北・北海道計量技術連絡会議 (茨城県)
	5月 (社)日本計量振興協会第4回総会 (東京都)	6月 計量協会第35次通常総会 (札幌市:北海道厚生年金会館)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	9月 全国計量協会・計量士会事務担当者会議 (東京都)	6月 組織等検討委員会 (東京都)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	10月 計量管理受託事業検討委員会 (東京都)	8月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国大会 (京都府)	8月 東北・北海道計量大会及び第52次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (宮城県)	6月 計量検定所長 竹内 征治郎氏就任
	11月 計量記念日 全国統一ポスター 作成・配布	10月 計量管理委託事業検討委員会 (10/14・11/27・3/12) (東京都)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (札幌市)
	12月 指定定期検査機関制度に関する全国連絡協議会 (東京都)	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	10月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (福島県)
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市:北海道庁ロビー)	10月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (愛知県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市民ホール)	11月 東北・北海道地区計量行政協議会 (宮城県)
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 1市1企業	
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	
		11月 第74回北海道計量大会 (札幌市)	
		12月 東北六県北海道事務局 長会議 (宮城県)	
		12月 指定定期検査機関制度に係る全国連絡会議 (東京都)	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成16年 (2004年)	1月 日本郵政公社の計量管理業務受託に関する東北・北海道ブロック説明会 (宮城県)	2月 大型はかり検査用大型トラック購入更新	2月 都道府県計量行政協議会臨時地区世話人会 (東京都)
	2月 第2回全国計量士大会 (東京都)	4月 日本郵政グループ計量管理委託事業検査開始	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量振興協会第5回通常総会 (東京都)	6月 計量協会第36回定時総会 (札幌市：北海道厚生年金会館)	4月 計量検定所長 木村 登喜雄氏就任
	7月 日本郵政公社計量管理受託事業運営委員会 (第1回から第3回) (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 (秋田県)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北・北海道計量大会及び第53次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (秋田県)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌市地下街オーロラスクエア)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (苫小牧市)
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市：北海道庁ロビー)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (札幌市)
		10月 「ちとせ消費者まつり2004」 (千歳市民文化センター)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (秋田県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：函館市役所市民ホール)	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (埼玉県)
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 2市	
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成17年 (2005年)	2月 第3回全国計量士大会 (奈良県)	2月 東北六県・北海道事務局長会議 (秋田県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量振興協会第6回通常総会 (東京都)	5月 「消費生活展」 (旭川市:旭川市アッシュアトリウム)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	9月 地区計量協会・計量士会事務担当者会議 (東京都)	6月 計量協会第37回通常総会 (札幌市:北海道厚生年金会館)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	9月 地区計量協会・計量士会事務担当者会議 (東京都)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (小樽市)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 東北六県・北海道計量協会会長・計量士会長会議 (岩手県)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (青森県)
		10月 東北・北海道計量大会及び第54次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (岩手県)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (岩手県)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (青森県)
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市:北海道庁ロビー)	
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市民ホール)	
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 2市	
		11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成18年 (2006年)	2月 第4回全国計量士大会 (東京都)	2月 東北六県・北海道事務局長会議 (岩手県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量振興協会第7回通常総会 (東京都)	3月 大型はかり検査用フォークリフト購入更新	4月 計量検定所長 酒井 純次氏就任
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	4月 北海道の指定定期検査機関として質量計 (1t以上) の定期検査開始	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター作成・配布	5月 「消費生活展」 (旭川市:旭川市アッシュアトリウム)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
		6月 計量協会第38次通常総会 (札幌市:北海道厚生年金会館)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (函館市)
		10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 (福島県)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (山形県)
		10月 東北・北海道計量大会及び第55次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (福島県)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (福島県)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	10月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (札幌市)
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市:北海道庁ロビー)	
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市民ホール)	
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力 (市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 2市	
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成19年 (2007年)	2月 第5回全国計量士大会 (兵庫県)	2月 東北六県・北海道事務局長会議 (福島県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量振興協会第8回通常総会 (東京都)	5月 「消費生活展」 (旭川市:旭川市アッシュアトリウム)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	6月 計量協会第39回通常総会 (札幌市:北海道厚生年金会館)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 (札幌市:北海道厚生年金会館)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (旭川市)
		10月 東北・北海道計量大会及び第56次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (札幌市:北海道厚生年金会館)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (宮城県)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (札幌市)
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市:北海道庁ロビー)	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (福岡県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市民ホール)	
		11月 計量展・計量コーナーの開催協力(市町村が主催する「消費生活展」等に展示パネル、計量器及び体力測定具を貸出し協力) 2市	
		11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成20年 (2008年)	2月 第6回全国計量士大会 (東京都)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (札幌市：北海道厚生年金会館)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量振興協会第9回通常総会 (東京都)	6月 計量協会第40次通常総会 (札幌市：北海道厚生年金会館)	4月 計量検定所長 目崎 雄二氏就任
	7月 地区計量協会事務担当者会議 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 (青森県)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北・北海道計量大会及び第57次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (青森県)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌市地下街オーロラスクエア)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (釧路市)
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市：北海道庁ロビー)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (秋田県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：函館市役所市民ホール)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (青森県)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (徳島県)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成21年 (2009年)	3月 第7回全国計量士大会 (東京都)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (青森県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (社)日本計量振興協会第10回総会 (東京都)	4月 札幌市の指定定期検査機関として質量計の定期検査開始	4月 計量検定所長 上野 一裕氏就任
	7月 地区計量協会事務担当者会議 (東京都)	6月 計量協会第41次通常総会 (札幌市：北海道厚生年金会館)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 (山形県)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 東北・北海道計量大会及び第58次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (山形県)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (室蘭市)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌市地下街オーロラスクエア)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (岩手県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：函館市役所市民ホール)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (山形県)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (広島県)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成22年 (2010年)	<p>3月 第8回全国計量士大会 (東京都)</p> <p>○(社)日本計量振興協会・新公益法人制度に対応し、団体事業運営進捗、経理体制等の見直し。 ・理事定数の見直し、新会計制度の導入 ・定款、規程類の改定</p> <p>○(社)日本計量振興協会新公益法人H24.4一般社団法人へ移行</p> <p>5月 (社)日本計量振興協会第11回通常総会 (東京都)</p> <p>11月 計量記念日全国大会 (東京都)</p> <p>11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布</p>	<p>2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (山形市)</p> <p>6月 計量協会第42次通常総会 (札幌市：北海道厚生年金会館)</p> <p>10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 (宮城県)</p> <p>10月 東北・北海道計量大会及び第59次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (宮城県)</p> <p>10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌市地下街オーロラスクエア)</p> <p>10月 「計量のひろば」 (帯広市：藤丸百貨店)</p> <p>11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：函館市役所市民ホール)</p> <p>11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布</p>	<p>2月 全国計量行政会議 (東京都)</p> <p>4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)</p> <p>6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)</p> <p>8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (帯広市)</p> <p>9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (福島県)</p> <p>10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (宮城県)</p> <p>11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (滋賀県)</p>

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成23年 (2011年)	2月 第9回全国計量士大会(大阪市)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議(岩手県)	2月 全国計量行政会議(東京都)
	5月 (社)日本計量振興協会第12回通常総会(東京都)	6月 計量協会第43次通常総会(札幌市:北海道厚生年金会館)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議(札幌市)
	7月 地区計量協会・計量士会事務担当者会議(東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議(秋田県)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会(東京都)
	10月 (社)日本計量振興協会、一般社団法人移行申請	10月 東北・北海道計量大会及び第60次東北六県・北海道計量協会連合会総会(秋田県)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議(札幌市)
	11月 計量記念日全国大会(東京都)	10月 「計量ふれあいひろば」(札幌市:札幌市地下街オーロラスクエア)	10月 東北・北海道地区計量技術連絡会議(札幌市)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量のひろば」(帯広市:藤丸百貨店)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会(秋田県)
		11月 「計量のひろば」(室蘭市:室蘭市青少年科学館)	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会(愛知県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」(函館市:函館市役所市民ホール)	
		11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成24年 (2012年)	2月 第10回全国計量士大会 (東京都)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (秋田市)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	4月 (社)日本計量振興協会、一般社団法人へ移行	6月 計量協会第44次通常総会 (札幌市:ホテルさっぽろ芸文館)	4月 計量検定所長 西谷 祐乙氏就任
	5月 (一社)日本計量振興協会第1回定時総会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 (岩手県)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	7月 計量協会100年記念式典 (東京都)	10月 東北・北海道計量大会及び第61次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (岩手県)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌駅前通地下広場)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (苫小牧市)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量ふれあいひろば」 (帯広市:藤丸百貨店)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (青森県)
		11月 「計量展」 (室蘭市:ぶらっとてついち)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (岩手県)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市民ホール)	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (千葉県)
		11月 計量記念日事業ポケットティッシュの作成・配布	11月 計量行政の推進に向けた意見交換 (札幌市)

年 代	日本計量振興協会・ 国内計量動向	計 量 協 会 の 歩 み	計量検定所・関連業界の歩み
平成25年 (2013年)	2月 第11回全国計 量士大会 (京都市)	3月 東北六県・北海道計 量協会事務局長会議 (岩手県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 地区計量協会・ 計量士会事務担当者 会議 (東京都)	4月 一般社団法人北海道 計量協会に移行	4月 北海道地区計量行政 協議会第1回会議 (札幌市)
	5月 (一社)日本計 量振興協会第14回 通常総会 (東京都)	6月 計量協会第1次通常 総会 (札幌市:ホテルさっぽろ 芸文館)	6月 都道府県計量行政協 議会第1回地区世話人会 及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国 大会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計 量協会長・計量士会長 議 (福島県)	8月 北海道地区計量行政 協議会第2回会議 (小樽市)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター 作成・配布	10月 東北・北海道計量大 会及び第62次東北六県 ・北海道計量協会連合会 総会 (福島県)	9月 東北・北海道地区計 量技術連絡会議 (山形県)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌駅前通地 下広場)	10月 東北・北海道地区計 量行政協議会 (福島県)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (帯広市:藤丸百貨店)	11月 都道府県計量行政協 議会第2回地区世話人会 (宮城県)
		10月 「計量展」 (室蘭市:ぶらっとてついち)	
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市 民ホール)	
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作 成・配布	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成26年 (2014年)	2月 第12回全国計量士大会 (東京都)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (福島県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (一社) 日本計量振興協会第15回通常総会 (東京都)	6月 計量協会第2次通常総会 (札幌市:北海道厚生年金会館)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	東北・北海道計量大会及び第63次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (北海道)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (函館市)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市:札幌駅前通地下広場)	9月 法定計量セミナー (燃料油メーター等) (東京都)
		10月 「計量ふれあいひろば」 (帯広市:藤丸百貨店)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (宮城県)
		10月 「計量展」 (室蘭市:ぶらっとてついち)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (札幌市)
		10月 「暮らしと計量パネル展」 (札幌市:北海道庁ロビー)	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (札幌市)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市:函館市役所市民ホール)	
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成27年 (2015年)	2月 第13回全国計量士大会 (京都市)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (北海道)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (一社) 日本計量振興協会第16回通常総会 (東京都)	6月 計量協会第3次通常総会 (札幌市)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 東北・北海道計量大会及び第1次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (青森県)	6月 計量検定所長 千葉 公志氏就任
	11月 地区計量協会事務局長・事務担当者会議 (東京都)		6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌駅前通地下広場) 「計量ふれあいひろば」 (帯広市：藤丸百貨店)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (旭川市)
	11月 「計量展」 (室蘭市：ぶらっとてついち)	10月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (秋田県)	
	11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：棒二森屋)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (青森県)	
	11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (福岡県)	
	12月 大型はかり検査用フォークリフト購入更新	12月 法定計量セミナー (札幌市)	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成28年 (2016年)	2月 第14回全国計量士大会 (東京都)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (青森県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (一社) 日本計量振興協会第17回通常総会 (東京都)	6月 計量協会第4次通常総会 (札幌市)	3月 都道府県計量行政協議会臨時地区世話人会 (メール会議)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会長・計量士会長会議 東北・北海道計量大会及び第2次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (山形県)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌駅前通地下広場) 「計量ふれあいひろば」 (帯広市：藤丸百貨店)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
		11月 「計量展」 (室蘭市：ぶらっとてついち)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (釧路市)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：棒二森屋)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (岩手県)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	9月 法定計量セミナー2016 (東京都)
		12月 大型はかり検査用大型トラック購入更新	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (山形県)
			11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (香川県)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成29年 (2017年)	2月 第15回全国計量士大会 (京都府)	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (山形県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (一社) 日本計量振興協会第18回通常総会 (東京都)	6月 計量協会第5次通常総会 (札幌市)	4月 計量検定所長 今井 康夫氏就任
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会会長・計量士会長会議 東北・北海道計量大会及び第3次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (宮城県)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
	11月 地区計量協会事務局長・事務担当者会議 (東京都)		6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌駅前通地下広場) 「計量ふれあいひろば」 (帯広市：藤丸百貨店)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (室蘭市)
	11月 「計量展」 (室蘭市：ぶらっとてついち)	9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (福島県)	
	11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：棒二森屋)	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (宮城県)	
	11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (山口県)	

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成30年 (2018年)	2月 第16回全国計量士大会 (東京都)	2月 東北・北海道計量協会事務局長会議 (宮城県)	2月 全国計量行政会議 (東京都)
	5月 (一社) 日本計量振興協会第19回通常総会 (東京都)	6月 計量協会第6次通常総会 (札幌市)	2月 法定計量セミナー (札幌市)
	11月 計量記念日全国大会 (東京都)	10月 東北六県・北海道計量協会会長・計量士会長会議 東北・北海道計量大会及び第4次東北六県・北海道計量協会連合会総会 (秋田県)	2月 北海道地区計量行政協議会研修会 (札幌市)
	11月 計量記念日 全国統一ポスター作成・配布	10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌駅前通地下広場)	4月 計量検定所長 和田 圭史氏就任
		10月 「計量ふれあいひろば」 (帯広市：藤丸百貨店)	4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市)
		10月 「計量展」 (室蘭市：ぶらっとてついち)	6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都)
		11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：棒二森屋)	8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (帯広市)
		11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (秋田県)
			11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (和歌山県)

年 代	日本計量振興協会・国内計量動向	計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成31年 令和1年 (2019年)	2月 第17回全国計量士大会 (福岡県) 5月 (一社) 日本計量振興協会第20回通常総会 (東京都) 11月 計量記念日全国大会 (東京都) 11月 地区計量協会事務局長・事務担当者会議 (東京都) 11月 計量記念日全国統一ポスター作成・配布	2月 東北・北海道計量協会事務局長会議 (秋田県) 6月 計量協会第7次通常総会 (札幌市) 10月 東北六県・北海道計量協会会長・計量士会長会議 東北・北海道計量大会 東北六県・北海道計量協会連合会総会 (岩手県) 10月 「計量ふれあいひろば」 (札幌市：札幌駅前通地下広場) 「計量ふれあいひろば」 (帯広市：藤丸百貨店) 11月 「計量展(計量ひろば)」 (函館市：棒二森屋) 11月 計量記念日事業 ポケットティッシュの作成・配布	1月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (札幌市) 2月 全国計量行政会議 (東京都) 4月 北海道地区計量行政協議会第1回会議 (札幌市) 6月 都道府県計量行政協議会第1回地区世話人会及び総会 (東京都) 8月 北海道地区計量行政協議会第2回会議 (札幌市) 9月 東北・北海道地区計量技術連絡会議 (青森県) 10月 東北・北海道地区計量行政協議会 (岩手県) 11月 都道府県計量行政協議会第2回地区世話人会 (愛知県)

年 代	日本計量振興協会・ 国内計量動向	計 量 協 会 の 歩 み	計量検定所・関連業界の歩み
令和2年 (2020年)	2月 第18回全国計 量士大会 (東京都) 5月 (一社) 日本計 量振興協会第21回 通常総会 (東京都)	2月 東北・北海道計量協 会事務局長会議 (岩手県) 6月 計量協会第8次通常総会 (札幌市)	2月 全国計量行政会議 (東京都) 4月 計量検定所長 森永 泰三氏就任

一般社団法人北海道計量協会
創立100周年にむけて…

北海道計量協会の主な事業

100th
anniversary

計量は、私達の社会生活や経済活動はもとより、健康管理など毎日の暮らしにも深いかわりをもっています。

(一社)北海道計量協会は、正しい計量知識についての普及・啓発や計量関係事業者を対象とした講習会の実施、計量に関する情報提供、各種計量器の検査などを通じて、道民の皆様が安心して暮らせるよう努めています。

(1)計量に関する知識の普及・啓発

- ア 市町村で開催される消費生活展等に協力し、計量に関する知識の普及、啓発の実施
- イ 計量相談の対応
- ウ 計量記念日ポスターの計量関係事業者に配布掲示及びポケットティッシュの作成配布（昭和63年開始）
- エ 業界新聞「会報」・「計量だより」を通じて、北海道、協会、計量関係団体の事業活動状況の広報（大正9年開始）

(2)計量記念日に関する事業の実施

- ア 毎年11月1日の計量記念日には、北海道・札幌市及び日本電気計器検定所と共催で「ふれあい計量のひろば」を開催し、北海道民に計量に関する知識の普及・啓発を実施（昭和7年開始）
- イ 計量記念日事業の一環として、「北海道計量大会」を開催し、経済の発展及び文化の向上に寄与する計量の意義を広く高揚し、併せて計量に功労のあった者の顕彰（平成15年終了）

(3)北海道の指定定期検査機関によるひょう量1 t以上の定期検査（計量法第20条第1項）の実施（平成18年開始）

札幌市の指定定期検査機関による定期検査（計量法第20条第1項）の実施（平成21年開始）

(4)計量士による代検査（計量法第25条及び第120条）の実施（平成6年開始）

(5)日本郵便[㈱]計量管理受託業務の実施

日本郵便[㈱]等各社の適正計量管理事業所計量管理業務を受託し定期検査、分銅の校正を実施。（平成16年開始）

(6)適正計量管理事業所（日本甜菜製糖株式会社・北海道糖業株式会社）の管理規程に基づく検査の受託（平成22年開始）

(7)計量業務に携わる者（計量証明事業者、計量器販売事業者及び流通業界の計量管理主任者）等への法知識・技術知識の向上を目的とする講習会、研修会等の開催（平成5年開始）

(8)計量器コンサルタント資格制度に基づく資格取得事務の受託。

(9)計量に関する諸問題の調査・研究

(10)行政及び関係団体との連携、協力、交流及び行政へ意見具申

(11)計量関係功労者の表彰及び表彰候補者の推薦

- 業界新聞「会報」・「計量だより」を通じ、北海道、協会、計量関係団体の事業活動状況の広報（大正9年開始）
「計量だより」の発刊（年3回発行）



（会報誌 第壹号）



（計量だより 第一号）

- 北海道・札幌市及び日本電気計器検定所と共催で「ふれあい計量のひろば」

『ふれあい計量のひろば』
～開催風景～

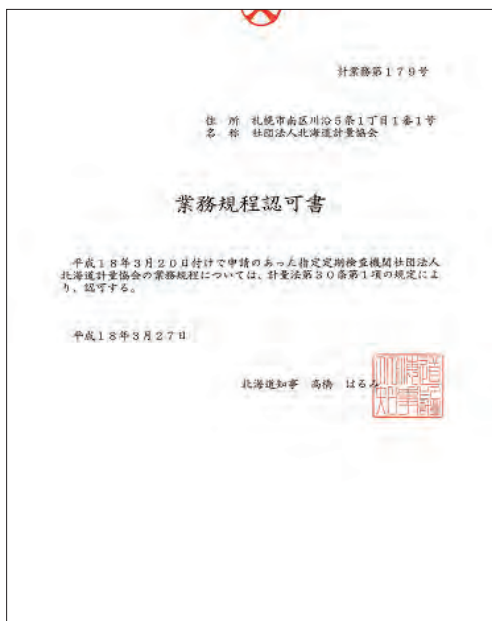


●商品量目調査会の実施

『商品量目調査会』
～開催風景～



●指定定期検査機関による定期検査（計量法第20条第1項）の実施

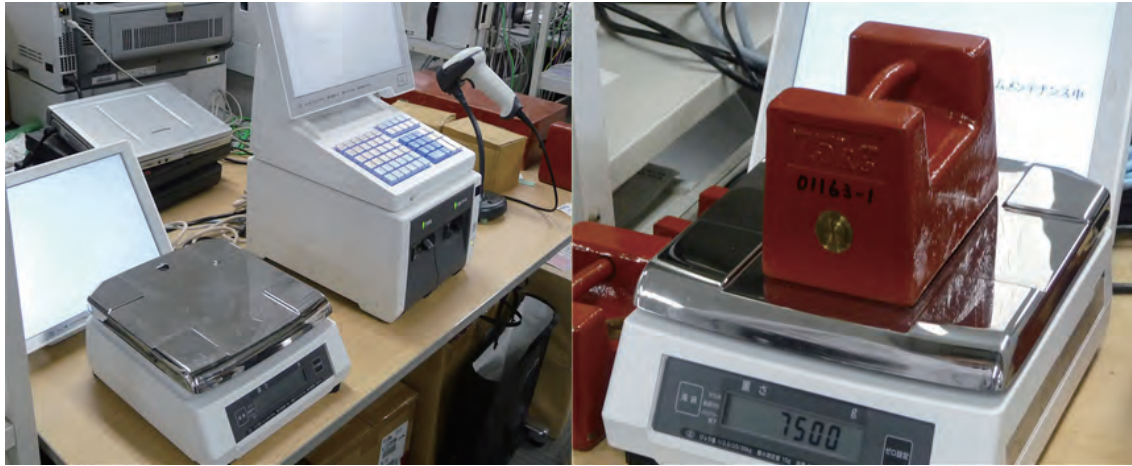


(業務規程認可書)



(指定定期検査機関指定書)

●日本郵政グループ計量管理受託業務の実施



●計量業務に携わる者（計量証明事業者、計量器販売事業者及び流通業界の計量管理主任者）等への法知識・技術知識の向上を目的とする講習会、研修会講座

★ 計量証明事業者計量主任者研修講習会

『計量管理に関する講習会』

～開催風景～



★ 特定計量器販売事業者講習会

～開催風景～



★ 流通業界の計量管理主任者研修講座

『計量主任者研修講座』

～開催風景～



一般社団法人北海道計量協会
創立100周年にむけて…

インタビュー(土谷令次 前会長)

100th
anniversary

土谷前会長へのインタビュー



計量の適正化の推進にあわせて人材の確保と育成が一番の課題

聞き手（星）

まずは、最初にH25～H30（3期：6年間）に渡り、会長職を務めていただいたところですが、就任前と就任後における計量協会の印象は、いかがだったでしょうか・・・

語り手（土谷）

就任前には、計量協会の存在そのものについては、理解をしていましたが、実際には、どのような業務があり、どのような運営をされているのかは、よく理解が出来ませんでした。

そのような中において、3期：6年間もよく大過なくやってこれたものだと思っています。

これもひとえに専務理事はじめ計量協会職員の皆様のご協力とご尽力の賜と感謝しているところです。

計量協会は、計量行政の目指す適正計量の推進のために行政事務の補完（サポート）をするばかりではなく、「計量のひろば」と言った計量展及び各種研修会、講習会等を通じて、計量協会会員等は、もちろんのこと北海道民に広く、計量思想の普及と計量知識の導入を図り、取引の安全を確保することにより消費者の安全を図ることを目的としている極めて重要な団体（一般社団法人）であると認識することが出来ました。

そのような意味におきましては、今後においても行政を含めた関係者が一丸となってその精神を継続維持していく必要があるものと考えます。

今後の益々の飛躍をお祈りします。

聞き手（星）

任期中において、一番の思い出（苦労したことを含む。）として記憶に残る出来事は、何ですか？

語り手（土谷）

H25.4に一般社団法人に変更されて間もないこともあり、一般社団法人としての定款変更さらには、役員の交代時期が重なり、業務的にも各種協議の場が、頻繁であったことに合わせて、日計振の理事を務めさせていただいていた関係もあり、理事会、総会等の出席要請もあり、大変忙しい思いをしたという印象があります。

また、東北六県北海道計量協会会長会議では、東北各県との情報交換及び東北の各開催県を訪問（観光）することにより、その県の歴史等を知ることが出来ることから、有益な会議であり、今後においても継続開催に期待したい。

今となっては思い出深いものとなっています。

特に、H27.10の開催地である青森県においての「ねぶた：フ・ラッセ」の見学では、ねぶたの歴史と屋台の巨大さに感激した思いがあります。

開催地の関係者皆様のご努力に感謝ですね。

聞き手（星）

計量協会の今後に向けての課題とさらなる飛躍のための方策は何かありますか？

語り手（土谷）

これまでも大きな課題とされています、人材の確保と育成が一番の課題だと考えます。現在、計量協会においては、様々な業務を行っています。

代表的な業務としては、

- ①日本郵政グループ計量管理委託事業検査（H16.4からの開始）
- ②北海道の指定定期検査機関として質量計（ひょう量1t以上）の定期検査（H18.4からの開始）
- ③札幌市の指定定期検査機関として質量計の定期検査（H21.4からの開始）
- ④自主計量管理協議会会員等に対する計量士による（法定・精度確認）検査等がありますが、いずれの検査においても計量士等の資格を必要とするものであり、安定的な有資格者の確保のための行政及び計量士会との連携を重ねての計画的施策が急務だと考えます。

また、計量士等を含めて、職員が高齢化していることに鑑みて、協会内部職員の若年者採用と有資格取得に向けての積極的な取組み検討が、求められているものと考えています。

そのためには、若年者採用を可能とする職員の処遇待遇についても、この社会変化に対応する改正を行うことも課題と考えています。

これからも計量の適正化の推進のために、会員や職員の皆様が、計量協会の役割を十分に認識していただき、それぞれのお立場で、ご尽力いただき、与えられたミッションを果たされることが、計量協会の飛躍に繋がるもの期待しております。

聞き手（星）

本日は、何かとお忙しい時節に貴重なお時間をいただきありがとうございました。今後ともご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

一般社団法人北海道計量協会
創立100周年にむけて…

計量関係法令(計量法・施行令・
施行規則等)の改正の動き

100th
anniversary

計量法の改正等履歴

年月(施行)	項 目	内 容
平成5年11月	新計量法の施行	<ul style="list-style-type: none"> ・計量単位のSI単位（注1）への統一（完全施行） ・特定計量器（注2）の見直し（27機種から18機種） ・型式承認制度（注3）の適用拡大 ・指定製造事業者制度（注4）の創設 ・指定定期検査機関制度（注5）の創設 ・指定計量証明検査機関制度（注6）の創設 ・JCSS制度（注7）の創設
平成9年 ～平成13年	計量法施行令の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・特定計量器検定有効期間の見直し (平成9年3月の政府の規制緩和推進計画に基づき、計量行政審議会において平成9年から平成13年までの5年間で、特定計量器の検定有効期間の見直しが行われた。) <p>〈一例〉自動車等給油メーター 5年 ⇒ 7年 液化石油ガスメーター 3年 ⇒ 4年 pH計指示部 3年 ⇒ 6年 pH計検出部 1年 ⇒ 2年 基準圧力計 3年 ⇒ 4年 タクシーメーター装置 検査用基準器 3年 ⇒ 4年</p>
平成12年4月	計量法の一部改正 (地方分権一括法による 自治事務化)	<ul style="list-style-type: none"> ・機関委任事務の廃止～検定検査の自治事務化 ・自治体職員の計量教習受講義務廃止（必置規制廃止）
平成13年10月	はかり13年問題	<ul style="list-style-type: none"> ・届出済証が貼付された追加非自動はかりの経過措置による検定実施 <p>(※平成5年の新計量法施行により新たに特定計量器に追加された電気式はかりは、経過措置により、行政機関に届出することで平成13年10月まで使用できるとされていたが、経過措置終了時期となっても相当数が使用されている状況が明確となり、経過措置終了の是非とその後の対応について検討された。)</p>
平成14年4月	計量法の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・特定計量証明事業の創設 (ダイオキシン等極微小物質に関する計量証明事業)

平成17年4月	特定計量器検定検査規則の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準のJIS引用 (タクシメーター・水道メーター・温水メーター・抵抗体温計・電気式アネロイド型血圧計) <p>※平成28年8月の濃度計、pH計指示部のJIS化で全特定計量器のJIS化が終了</p>
平成22年6月	計量法施行令の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・ベックマン温度計等の特定計量器からの除外 (ベックマン温度計・ボンベ型熱量計・ユンケルス式流水型熱量計)
平成29年10月	計量法施行令の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・自動はかり(注8)の特定計量器追加
平成29年10月	計量法施行規則の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・検定証印等(注9)に係る年の表記の改訂
平成30年4月	計量法施行規則の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・計量士の資格認定に係る実務経験期間見直し ・指定検定機関(注10)の指定要件の見直し
令和元年5月	計量単位令の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ・「キログラム」(注11)「アンペア」「ケルビン」「モル」の4量の単位の定義を国際度量衡総会の決議に従い、国内法の定義を改定。原器で現示する定義から、各々普遍的で安定した物理定数を用いた定義へ変更。

注1：国際単位系。仏語Le Système International d'Unitésの略。メートル条約に基づく単位でも計測の分野ごとにCGS単位系、重力単位系など異なる単位系が使用されていたため、統一の必要性が議論され1960年の国際度量衡総会で採択された。

注2：計量するための器具・機械・装置(計量器)のうち、取引・証明における計量に使用され、又は消費者の生活の用に供される計量器で、特に計量法で基準を定めてその器差・性能を確保する必要があるものについて、計量法で「特定計量器」として指定し、計量の安全確保のため検定・検査・事業規制等の施策がとられている。

注3：特定計量器の製造事業者が、自己が製造する特定計量器の型式について、計量法の定める構造・性能の基準に適合するか、経済産業大臣の承認を受ける制度。型式の承認を受けた特定計量器は都道府県知事の行う検定に際して、構造・性能(一部の性能は除く)の基準に適合するものとみなされ、器差試験のみで合否の判定が行われる。

注4：特定計量器の製造に関して、一定の品質管理能力をもつものとして経済産業大臣から指定を受けた製造事業者が、その指定に係る工場または事業場において、型式承認を受けた特定計量器と同一の型式に属する計量器を製造したとき、自ら検定の合格条件に適合するか検査を行い、自社で「基準適合証印」を付すことができる制度。

- 注5：都道府県知事又は特定市町村の長の指定を受け、都道府県知事又は特定市町村の長に代り定期検査を行う機関。
- 注6：都道府県知事の指定を受け、都道府県知事に代り計量証明検査を行う機関。
- 注7：計量法に基づく、計量トレーサビリティ制度。新たな標準供給システムとして創設された。Japan Calibration Service System。
- 注8：質量を計る計量器（はかり）の内、計量結果を得る過程で操作者の介在を必要とするはかりが非自動はかり、操作者の介在が不要なはかりが自動はかり。自動はかりとして特定計量器に追加されたものの内、検定が必要なものは、自動捕捉式はかり・充填用自動はかり・ホッパースケール・コンベアースケールの4種類。
- 注9：計量法関係法令によって表記が義務付けられる年の表記を、従来の和暦から西暦で表記するように改訂された。検定証印の有効期間満了年月・基準適合証印の有効期間満了年月・検定を行った年月、定期検査を行った年月など。
- 注10：産業技術総合研究所・都道府県知事・日本電気計器検定所と並び、経済産業大臣の指定を受け、計量法に基づく特定計量器の検定を行う機関。
- 注11：高精度な計測が必要となる現代では、より普遍的で安定的な計量単位の定義が必要となる。原器に基づく計量単位の定義では、原器自体の量的変化を完全に防ぐことはできないため、計量単位は原器に基づく定義から物理定数による定義に切り替えられてきた。今回の改定により全ての計量単位が物理定数による定義に切り換えられた。キログラムはプランク定数により定まる原子の数の質量として定められる。

一般社団法人北海道計量協会
創立100周年にむけて…

計量記念日事業
ポケットティッシュ図案の変遷

100th
anniversary



昭和63年 (1988年)

1988年(昭和63年)の主な出来事

- 青函トンネル・瀬戸大橋が開通。東京ドームが完成。
- 昭和天皇の病気が報道され、日本各地で祭行事やイベントの自粛・延期が相次ぐ。
- 大相撲で横綱千代の富士が53連勝達成。
(連勝記録の第一位は双葉山の69、現役では3位横綱白鵬の63)
- ソウルオリンピック開催。

平成元年 (1989年)

1989年(平成元年)の主な出来事

- 昭和天皇が崩御。元号が昭和から平成になる。
- 4月1日から消費税スタート。
- リクルート事件で竹下内閣総辞職、宇野内閣発足。
- 東欧革命が起こる。ベルリンの壁崩壊。
- ゴルバチョフ・ソ連共産党書記長とアメリカのブッシュ大統領が会談し、冷戦終結を宣言。
- 中国で天安門事件発生。





北海道・(社)北海道計量協会

平成2年 (1990年)

1990年(平成2年)の主な出来事

- 礼宮文仁親王ご成婚、秋篠宮家を創設。
- 大学共通1次試験を改称し、「大学入試センター試験(第1回)」を実施。
- 記者の秋山豊寛がソ連のバイコヌール宇宙基地より宇宙旅行へ出発。日本人初の宇宙飛行士となる。
- 東西ドイツが統一。

平成3年 (1991年)

1991年(平成3年)の主な出来事

- 横綱千代の富士が引退。
- 雲仙普賢岳の噴火、火砕流により死者・行方不明者43名。
- 湾岸戦争が勃発、自衛隊ペルシャ湾派遣(掃海部隊)。
- ゴルバチョフ・ソ連大統領が辞任。ソビエト連邦崩壊。



北海道・(社)北海道計量協会

平成4年 (1992年)

1992年(平成4年)の主な出来事

- 東海道新幹線のぞみ運行開始。
- 毛利衛さんがスペースシャトルで宇宙飛行。
- 公立の小・中・高等学校で第二土曜日が休校となる(学校週休2日制)。
- バルセロナオリンピック開催。



北海道・(社)北海道計量協会

平成5年 (1993年)

1993年(平成5年)の主な出来事

- 自民党からの離党者が相次ぎ、新生党、新党さきがけが結成される。
- Jリーグが開幕(サッカー)。
- 北海道南西沖地震で奥尻島に大きな被害が発生。
- 55体制の終結、非自民非共産の細川護熙内閣成立。
- 冷夏に見舞われ、米が大凶作となる(平成の米騒動)。
- ヨーロッパで欧州連合(EU)が発足。



北海道・(社)北海道計量協会



北海道・(社)北海道計量協会

平成6年 (1994年)

1994年(平成6年)の主な出来事

- 羽田内閣総辞職、自社さ連立政権の村山富市内閣発足、自民党与党に返り咲く。
- 松本サリン事件発生。
- 関西国際空港開港。
- プロ野球オリックスのイチロー選手が史上初の年間200本安打を達成する。
- 南アフリカ共和国でネルソン・マンデラが大統領に就任。

平成7年 (1995年)

今年の漢字

震

シン・ふる-う
ふる-える

※この年から「今年の漢字」が創られる。

1995年(平成7年) 今年の漢字の由来

- 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）発生。
- 東京都心で化学兵器による無差別テロ（地下鉄サリン事件）が発生し、世界に震撼と衝撃を与えた。
- 金融機関の倒産などによる社会不安の拡大。

ボクは、日本国キログラム原器№6といって、フランス生れなんです。国際キログラム原器がボクの生みの親で、兄弟はメートル条約加盟国の国々にもたくさんいるんですよ。

北海道・(社)北海道計量協会

申し訳ございません。
ただいま搜索中です。



平成8年
(1996年)

今年の漢字

食

シヨク・ジキ・ク-ウ
く-らう・た-べる

1996年(平成8年) 今年の漢字の由来

- 大阪府堺市などで発生したO157による集団食中毒の多発、それによる学校給食などへの影響。
- 税金や福祉を「食いもの」にした汚職事件の多発。
- 牛海綿状脳症（狂牛病）の発生。

平成9年
(1997年)

今年の漢字

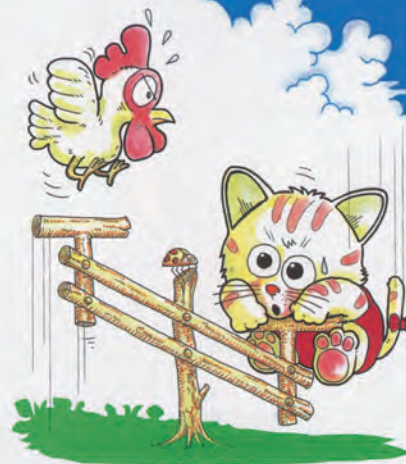
倒

トウ・たお-れる
たお-す

1997年(平成9年) 今年の漢字の由来

- 北海道拓殖銀行、山一証券をはじめ、相次ぐ大型企業の倒産や銀行の破綻。
- サッカー日本代表が1998FIFAワールドカップのアジア地区予選で強豪を倒してW杯初出場。

11月1日は計量記念日



札幌市・(社)北海道計量協会

11月1日は計量記念日



(社)北海道計量協会札幌支部

平成10年
(1998年)

今年の漢字

毒

ドク

1998年(平成10年) 今年の漢字の由来

- 和歌山毒物カレー事件の余波で毒物混入事件が多発。
- ダイオキシンなど有毒物質に対する不安の高まり。
- 当時社会問題となった環境ホルモン。

平成11年
(1999年)

今年の漢字

末

マツ・バツ
すえ

1999年(平成11年) 今年の漢字の由来

- 1000年代、1900年代、1990年代の最後。
- 東海村JCO臨界事故発生。
- 翌年への「末広がり」の期待を込めて。



(社)北海道計量協会 **KEIRIN** 00



平成12年
(2000年)

今年の漢字

金

キン・コン
かね・かな

2000年(平成12年) 今年の漢字の由来

- シドニーオリンピックで、女子フルマラソンの高橋尚子、女子柔道の田村亮子が金メダル。
- 金大中と金正日による初の南北首脳会談。
- 長寿姉妹のきんさんぎんさんの成田さんが逝去。
- 二千円紙幣誕生。

平成13年
(2001年)

今年の漢字

戦

セン・いくさ
たたかう

2001年(平成13年) 今年の漢字の由来

- アメリカ同時多発テロ事件発生。当時のターリバン政権が首謀者引き渡しに応じなかったことをきっかけにアメリカのアフガニスタン侵攻（対テロ戦争）始まる。





平成14年
(2002年)

今年の漢字

帰

キ・かえ-す
かえ-る

2002年(平成14年) 今年の漢字の由来

- 初の日朝首脳会談により、北朝鮮に拉致された日本人が日本に帰国。
- 日本経済がバブル期より以前の水準に戻る。
- レトロソングのリバイバルヒット。

平成15年
(2003年)

今年の漢字

虎

コ
とら

【単位の話①】
パスカルと
ヘクトパスカル

●パスカル(1623~1663年)は、水やワインなどを使って圧力の原理を発見しました。これは「パスカルの原理」と呼ばれています。その功績を記念して、圧力の国際表示単位を「パスカル」(Pa)と言います。「パスカル」の100倍の値は、「ヘクトパスカル」(hPa)です。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会

2003年(平成15年) 今年の漢字の由来

- 阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝。
- イラク戦争が勃発、「虎の尾を踏む」ような自衛隊イラク派遣。

【単位の話②】
ケルビンと絶対温度



●イギリスのウィリアム・トムソン(1824~1907年)は、全ての分子の運動が停止する絶対零度を0ケルビン(K)とする絶対温度目盛を導入しました。トムソンは流体力学の分野でも有名な定理を残し、英国王室から貴族の称号を与えられ、晩年ケルビン卿と呼ばれました。現在セルシウス度はケルビンで定義され、 $0\text{C}=273.15\text{K}$ となります。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会 

平成16年
(2004年)

今年の漢字

災

サイ
わざわい

2004年(平成16年) 今年の漢字の由来

- 新潟県中越地震、新潟・福島豪雨、福井豪雨、台風23号をはじめとする台風の連続上陸、浅間山の噴火など、国内で自然災害が多かったこと。
- 美浜発電所の事故や三菱リコール隠し。

平成17年
(2005年)

今年の漢字

愛

アイ
いと-しい

【単位の話③】
ワットと蒸気機関



●スコットランドの数学者、エンジニアのジェームス・ワット(1736~1819年)は、主に蒸気機関の分野で産業革命の進展に貢献しました。蒸気機関の出力を表す「馬力(ワット)」という単位は、標準的な馬一頭の力を基準として、ワットの名にちなんで作られました。現在では多くの電化製品の消費電力にワット(W)が用いられています。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会 


2005年(平成17年) 今年の漢字の由来

- 愛知県で愛・地球博(万博)の開催。
- 紀宮清子内親王と黒田慶樹が結婚。
- 卓球の福原愛の中華人民共和国での活躍をはじめ、「あいちゃん」という愛称の女性の活躍が目立ったこと。
- 親が子を、子が親を殺すなど「愛の無い事件」が目立ったこと。



【単位の話 ④】
アンペールと右ネジの法則

●フランスの物理学者アンドレ・マリー・アンペール（1775～1836）は、2本の電流の間に働く力を観測し、電流を流すことによって発生する磁場は、右ネジのように電流の方向に沿って右回りになることを発見し、「右ネジの法則」と名付けました。1アンペア（A）は、1秒間に約 6.24×10^{18} 個の荷電粒子が導体中を流れる状態のことで、電流の単位として用いられている国際単位系です。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会 

平成18年
(2006年)

今年の漢字

命

メイ・ミョウ
いのち・みこと

2006年(平成18年) 今年の漢字の由来

- 悠仁さま誕生。
- 小中学生の自殺多発。
- 北朝鮮の核実験。
- 臓器移植事件、医師不足などによる命の不安。

平成19年
(2007年)

今年の漢字

偽

ギ・いつわ-る
にせ



【単位の話 ⑤】

ボルタと
ボルト

●イタリアはコモ出身の自然哲学者で物理学者のアレッサンドロ・ボルタ（1745～1827）は、銀とスズの板を互い違いに何層にも重ね、そこに食塩水をかけると電流が発生することを発見しました。これによって2枚の金属板と電解質の水溶液からなる1次電池は、現在ボルタ電池と呼ばれています。1881年、ボルタの功績を記念して、電圧の基本単位をボルトとすることが決まりました。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会

2007年(平成19年) 今年の漢字の由来

- 不二家をはじめ、「白い恋人」や「赤福餅」など、食品表示偽装が次々と表面化。
- 年金記録問題の発覚。
- 防衛省の汚職事件の発覚。
- テレビ番組『発掘！あるある大事典II』による捏造問題。



【単位の話⑥】 ヘルツと周波数

●ドイツの物理学者ハインリヒ・ルドルフ・ヘルツ (1857～1894) は、電磁波の伝播をする機構を見つけ、信号が空間を伝播することが証明されました。これは無線の発明の基礎となり、ヘルツの名前は周波数・振動数を示す国際単位系 (SI) における単位ヘルツ (hertz 記号: Hz) となりました。1ヘルツは1秒間に1回の周波数・振動数と定義されます。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会

平成20年
(2008年)

今年の漢字

変

ヘン・か-わる
か-える

2008年(平成20年) 今年の漢字の由来

- 日本の内閣総理大臣交代やアメリカのオバマ次期大統領の演説「チェンジ (変革)」。
- 株価暴落や円高ドル安などの経済の変化。
- 食の安全性に対する意識の変化。
- 世界的規模の気象異変による地球温暖化問題の深刻化。
- スポーツや科学の分野での日本人の活躍に表れた時代の変化。

平成21年
(2009年)

今年の漢字

新

シン・あたら-しい
あら-た・にい



【単位の話⑦】 ジュールと熱力学

●イギリスの物理学者ジェームズ・プレスコット・ジュール (1818～1889年) は、家業の醸造業を営むかたわら自宅の研究室で、電流によって生じる熱量は電流の2乗に比例するという「ジュールの法則」を発見しました。これに因み現在、エネルギー、仕事、熱量、電力量の国際単位系としてジュール (joule, 記号: J) が用いられています。1ジュールは、1ワットの仕事を1秒間行ったときの仕事として定義されています。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会

2009年(平成21年) 今年の漢字の由来

- 自由民主党と公明党に替わる民主党を中心とした鳩山由紀夫新政権発足。
- アメリカのバラク・オバマ新大統領就任。
- 裁判員制度や高速道路料金割り引きなど、様々な新制度の施行。
- 新型インフルエンザの流行。
- スピード社の高速水着による競泳の世界新記録ラッシュ。
- イチローの9年連続200本安打の新記録。



【単位の話⑨】クーロンと電磁気学

●フランスの物理学者シャルル・オーギュスタン・ド・クーロン(1736～1806年)は、自身が発明したねじり秤を用いて、帯電した物体間に働く力を測定し、クーロンの法則を発見しました。これは、荷電粒子間に働く力が、それぞれの電荷の積に比例し、距離の2乗に反比例すると言う電磁気学の基本法則です。電荷のSI単位をクーロン(coulomb、記号C)と呼び、1クーロンは、1秒間に1アンペアの電流によって運ばれる電荷(電気量)になりました。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会

平成22年
(2010年)

今年の漢字

暑

シヨ
あつ-い

2010年(平成22年) 今年の漢字の由来

- 観測史上1位の猛暑や非常に厳しかった残暑により熱中症にかかる人が多発。これに伴い野菜価格が高騰し、熊なども人里に出没。
- 地中の「暑い」中から作業員全員が生還したコピアボ鉱山落盤事故。
- 1万℃の突入温度から宇宙探査機「はやぶさ」が帰還。

平成23年
(2011年)

今年の漢字

絆

ハン・バン
きずな・ほど-す



【単位の話⑩】ニュートンと万有引力

●イングランドのアイザック・ニュートン(1642年～1727年)は、地上で物体が地球に引き寄せられる現象が、宇宙ではどこでも全ての物体が互いに引き寄せる作用、引力、重力を及ぼし合っているのではないかと考え、「万有引力の法則」を提示しました。これに因み、現在、ニュートン(newton、記号: N)は、国際単位系(SI)における力の単位となっています。1ニュートンは、1キログラムの質量をもつ物体に1メートル毎秒毎秒(m/s²)の加速度を生じさせる力として定義されています。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会

2011年(平成23年) 今年の漢字の由来

- 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)をはじめ、台風などによる大雨被害(平成23年7月新潟・福島豪雨、台風12号)、ニュージーランド地震、タイ洪水など国内外における大規模自然災害の発生。
- ワールドカップに優勝したサッカー日本女子代表「なでしこジャパン」の活躍を見た多くの日本人が「絆」の大切さを改めて感じた1年。

【単位の話⑩】 **テスラと磁束密度**



●オーストリア帝国(現在のクロアチア西部)出身で、後に米国に渡ったニコラ・テスラ(1856~1943年)は、自身が発明した交流電流による電力事業を推進したり、ラジオ等に用いられる無線トランスミッターや蛍光灯、空中放電実験で有名なテスラコイルなど多数の発明をしました。磁束の単位面積当たりの面密度を表す国際単位系は、テスラ(tesla、記号:T)と呼ばれ、1テスラは「磁束の方向に垂直な面の1平方メートルにつき1ウェーバの磁束密度」と定義されています。

11月1日は計量記念日
北海道・(社)北海道計量協会

平成24年
(2012年)

今年の漢字

金

キン・コン
かね・かな

2012年(平成24年) 今年の漢字の由来

- 自立式電波塔として世界一の高さとなった東京スカイツリーの開業、ロンドンオリンピックでの過去最多のメダルラッシュ、山中伸弥(京都大学教授)のノーベル賞受賞など数々の「金字塔」が打ち立てられた。
- 932年ぶりに全国的に観測された金環日食や、21世紀最後の金星の太陽面通過といった「金」に関する天文現象があった。
- 「金」は2000年にも選出されており、初めて複数回選出された漢字になった。

平成25年
(2013年)

今年の漢字

輪

リン
わ

【単位の話⑪】 **伊能忠敬と測量**



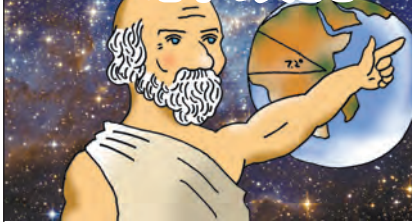
●伊能 忠敬(いのう たただか)は江戸時代の商人・測量家で、1800年(寛政12年)から足かけ17年をかけて全国を測量し、「大日本沿海輿地全図」を完成させ、日本国の歴史上はじめて、国土の正確な姿を明らかにしました。また日本で初めて金星の子午線経過を観測した人物でもあります。当時用いられていた距離の単位は、尺貫法における長さの単位「里(リ)」でした。1里の長さは現在の単位に換算すると3.92727273kmになります。

11月1日は計量記念日
北海道・(一社)北海道計量協会

2013年(平成25年) 今年の漢字の由来

- 2020年夏季五輪の東京招致成功。
- 東北楽天ゴールデンイーグルスが球団創設以来初となる日本一達成、東北に歓喜の輪が作られた。
- 台風第26号による伊豆大島災害や台風第30号によるレイテ島(フィリピン)災害に対する日本各地並びに世界各国からの支援の輪が広がった。

【単位の話⑫】**エラステネスと地球の大きさ**



●エラステネス(紀元前275年～194年)は、エジプトのナイル川上流のシエネ(現在のアスワン)では夏至の日に陽光が井戸の底まで届くことを知り、そこから約900km離れたアレクサンドリアで夏至の太陽南中時に鉛直に立てた棒とその影が作る角度がシエネとアレクサンドリアの緯度の差に基づくものとみなし、その値から地球の全周を導きだしました。当時エラステネスが使っていた単位はスタディオン(1スタディオン=約180m)でした。

11月1日は計量記念日

北海道・(一社)北海道計量協会

平成26年
(2014年)

今年の漢字

税

ゼイ・セイ
みつぎ

2014年(平成26年) 今年の漢字の由来

- 17年ぶりの消費税増税とそれに伴い生活環境が大きく変化した。
- 森貫主は「国民の多くが税に厳しい目を持っているということではないか」と話している。

平成27年
(2015年)

今年の漢字

安

アン・やす
さだ・いづくんぞ

【単位の話⑬】**ガリオの天体観測**



●ガリオ・ガリレイ(1564～1642年)は、地動説で有名なイタリアの物理学者・天文学者です。望遠鏡を用いた観測によって、木星の衛星や多くの恒星、太陽黒点を発見しました。また、金星食の発見は、コペルニクスの唱えていた地動説を指示する結果となり、当時の宗教裁判で有罪判決を受けてしまいました。他にも「振り子の等時性」などの法則を発見しました。

11月1日は計量記念日

北海道・(一社)北海道計量協会

2015年(平成27年) 今年の漢字の由来

- 安倍内閣による安倍関連法案の成立が注目を集めた。
- 韓国人による靖国神社爆発テロ事件や旭化成によるマンション傾斜問題など住環境や暮らしに対する不安。
- イスラム国による日本人拘束事件やパリ同時多発テロ事件に対するテロ不安と、世界の平和(平安)を願う思い。
- TPPに伴う食の安全への関心の高まり。
- お笑い芸人・とにかく明るい安村のギャグ「安心して下さい、穿いてますよ」の流行。

平成28年
(2016年)

今年の漢字

金

キン・コン・かね
かな・こかね

【単位の話 14】オームとオームの法則



●ドイツの物理学者ゲオルク・ジーモン・オーム(1789~1854年)は、「オームの法則」を発見し電圧と電流と電気抵抗の基本的な関係を明らかにしました。これに因み国際単位系におけるオーム(O)は、1Vの電圧をかけたときに1Aの電流が流れる電気抵抗として定義されています。

11月1日は計量記念日
北海道・(一社)北海道計量協会

2016年(平成28年) 今年の漢字の由来

- リオデジャネイロオリンピックでの日本人選手の金メダルラッシュ、MLB・イチローの通算3000安打達成やレスリング・伊調馨の五輪4連覇など数々の金字塔が打ち立てられた。
- 舛添要一前東京都知事の政治資金私的流用、豊洲市場移転延期や東京オリンピック会場見直しなどの東京都の財政や税金運用に関する問題など「政治とカネ」にまつわる問題が顕著になった。
- 日本銀行によるマイナス金利などの金融政策が注目を集めた。
- 金髪でお金持ちの不動産王・ドナルド・トランプがアメリカ大統領選挙に当選。
- YouTubeで「PPAP」の動画が世界的に大ヒットしたピコ太郎の衣装が全身金色。

平成29年
(2017年)

今年の漢字

北

ホク・ハイ・きた
そむ・く・にげる

【単位の話 15】X線とレントゲン



●ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン(1845~1923年)は、ある実験の最中、装置から放射線が出ていることを発見し、写真乾板による鮮明な撮影に成功しました。彼はこの放射線をX線と名付けました。これにちなんで、照射された放射線の総量(照射線量)の単位はレントゲン(記号:R)と呼ばれるようになりました。

11月1日は計量記念日
北海道・(一社)北海道計量協会

2017年(平成29年) 今年の漢字の由来

- 北朝鮮による、度重なるミサイル発射や核実験強行で朝鮮半島情勢に緊迫化。
- 九州北部豪雨による甚大被害の発生。
- 前年の北海道産ジャガイモ不作による供給遅滞の影響でポテトチップスの販売が一時停止。
- 大リーグ・エンゼルスへの移籍が決定した大谷翔平と、ドラフト1位で入団が決定した清宮幸太郎など、北海道日本ハムファイターズの動向に関心が高まった。
- 北島三郎が所有する競走馬キタサンブラックの活躍。
- 葛飾北斎展覧会が日本国内で盛況。

平成30年
(2018年)

今年の漢字

災

サイ
わざわい

【単位の話 16】 オングストローム



●スウェーデンの天文学者で物理学者のアンデルス・オングストローム(1814~1874年)は、10のマイナス10乗というとても小さな長さの単位を用いて熱伝導と分光学の分野において重要な業績を残しました。これに由来し現在、国際単位系として0.1ナノメートルは1オングストロームと定義されています。

11月1日は計量記念日
北海道・(一社)北海道計量協会

2018年(平成30年) 今年の漢字の由来

- 平成30年北陸豪雪、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、台風第21号など自然災害の脅威を痛感した。
- レスリング、体操などのスポーツ界に於けるパワーハラスメント問題や財務省の公文書改竄(書き換え)問題などといった人為的災害が顕著であった。
- 7月・8月の時期に酷暑となり、「災害級の暑さ」という表現が気象庁によって用いられた。
- 免震装置のデータ偽装、「スーパーボランティア」の活躍など、災害に対する意識に影響する出来事があった。
- 「災」は2004年以来、14年ぶり2度目の選出である。

平成31年
(2019年)

今年の漢字

令

レイ・リョウ
いいつけ・おさ・よい

【単位の話 17】 マッハと超音速



●オーストリアの物理学者エルンスト・マッハ(1838~1916年)は、超音速気流の研究で、物体が音速を超えると空气中に衝撃波が生じることを実験的に示しました。この業績にちなみ、音速を超える物体の速度を表すための数はその名前を冠し「マッハ数」と呼ばれています。マッハ1は概ね時速1,234.8kmです。

11月1日は計量記念日
北海道・(一社)北海道計量協会

2019年(平成31年) 今年の漢字の由来

- 初めて国書(万葉集)を出典とする新元号「令和」への改元。これにより日本国民の多くが新しい時代の幕開けを実感したこと。また「令和」が日本の古典から出典を得た元号であったために日本の伝統文化を再認識する縁となったことや、「令」の意味に素晴らしい、良い、立派な、敬うなどの意が表され、漢字が持つ意味の奥深さについて人々が知る機会が生じた。
- 台風15号・19号及び10月25日の大雨によって千葉県や長野県を始めとする各地で災害が相次ぎ、警報発令や避難命令が発令されるなど、「令」が命じる、又は決まりや掟などの意味があることも認識させられる出来事があった。

一般社団法人北海道計量協会
創立100周年にむけて…

一般社団法人北海道計量協会
役員名簿

100th
anniversary

一般社団法人北海道計量協会 役員名簿

H9. 6 (任期3年)			H12. 6 (任期3年)		
役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
顧問	松本恒一	(株) 日の丸産業社	顧問	松本恒一	(株) 日の丸産業社
副会長	山本論	北海道イシダ(株)	副会長	山本論	北海道イシダ(株)
同	茶谷豊拓	旭川計量機(株)	同	森山佳	(株) 金門製作所
同	鈴木木田進	(株) 金門製作所	同	山崎高	(株) 山新計量器工業所
同	山津元	日本エンヂニヤサービス(株)	同	大柴嶋田元	日本エンヂニヤサービス(株)
専務理事	黒山龍	(株) 西武百貨店	専務理事	黒山龍	(株) 西武百貨店
同	山古比古	(株) 津元理化産業(株)	同	土谷令	(株) 津元理化産業(株)
同	山崎高次	(株) 北海道計量協会	同	古島口	(株) 北海道計量協会
同	土谷令	(株) 山新計量器工業所	同	尾延幸	(株) 土谷製作所
同	島崎孝	(株) 土谷製作所	同	楠美秀	(株) 愛知時計電機(株)
同	秋山孝	(株) 愛知時計電機(株)	同	三本橋	(株) ムトウ
同	荒川銀	(株) 秋山愛生	同	熊谷隆	(株) 札幌東急ストア
同	三田尾	(株) 札幌メートル	同	丹羽和	生活協同組合
同	田守隆	(株) 北海道計量器業協同組	同	荒法渡	札幌市職員福祉協会
同	三浦信	(株) ムトウ	同	伊藤春	丸大伊藤(株)
同	三橋俊	(株) 定鉄商	同	福西林	(株) 福西計量器店
同	本熊石	(株) 札幌金	同	大茶木	今井金商(株)
同	早坂紀	(株) 生活協同組合	同	市原顯	旭川計量機(株)
同	早坂恭	(株) 本郷計測機(株)	同	富山中	(株) 丸ス新海金物店
同	伊藤春	(株) トキコ東メンテナ	同	岩塚晃	(株) トガシイ
同	中福西	(株) 早坂理工	同	上福中	(株) カネイ
同	上福西	(株) 丸大伊藤	同	出進	(株) 函館市計測協議会
同	谷黒田	(株) 函館中保薬	同	千山	(株) ヤマキ
同	吉田久	(株) 函館西計量器	同	小山	(株) 三ツ輪商會
同	中村昭	(株) 今井金商	同	澤森	(株) 和
同	岩塚晃	(株) 谷黒田	同	石下	(株) ヤマレ
同	上福中	(株) 函館計	同	二ノ宮	(株) おぎ
同	中福原	(株) 函館市計測協議会	同	前中山	(株) ホシ
同	出進	(株) 函館市計測協議会	同	中本	(株) 山下一熱機
同	千山	(株) 函館市計測協議会	同	大谷	(株) 昭前産業
同	井谷	(株) 函館市計測協議会	同	佐々木	(株) 北本商
同	小澤	(株) 函館市計測協議会	同	中藤	(株) 大谷商
同	山田	(株) 函館市計測協議会	同	林谷	(株) 佐々木
同	石井	(株) 函館市計測協議会	同	瀬高	(株) マルスマ
同	二ノ宮	(株) 函館市計測協議会	同	進遠	(株) アミヤ
同	前中山	(株) 函館市計測協議会	同	濱口	(株) 生活協同組
同	大谷	(株) 函館市計測協議会	同	三蔵	(株) 石計量機
同	佐々木	(株) 函館市計測協議会	同	龍	(株) 丸竹遠田
同	中藤	(株) 函館市計測協議会	同		環境コンサルタント
同	林谷	(株) 函館市計測協議会	同		(株) 函館営業所
同	瀬高	(株) 函館市計測協議会	同		
監事	進遠	(株) 興石計量機	監事	進遠	(株) 興石計量機
同	藤田	(株) 丸竹遠田	同	濱口	(株) 丸竹遠田
同	龍	環境コンサルタント	同		環境コンサルタント

一般社団法人北海道計量協会 役員名簿

H15. 6. 25 (以降任期2年)				H17. 6. 25			
役 職	氏 名	所	属	役 職	氏 名	所	属
顧問	松本恒一	(株) 日の丸産業社		顧問	松本恒一	(株) 日の丸産業社	
副会長	山本元論	北海道イシダ	(株) 津元理化学産業	副会長	山本元論	北海道イシダ	(株) 津元理化学産業
同	三橋克比古	北海道計量士	(株) 土谷製作所	同	土谷令次	土谷製作所	(株) 土谷製作所
同	本郷計測機	札幌支店	(株) 札幌東急ストア	同	本郷美嘉秀	札幌東急ストア	(株) 札幌東急ストア
専務理事	氏家義一	(株) 北海道計量協会		専務理事	氏家義一	(株) 北海道計量協会	
同	古島村口崎	(株) 金門製作所	北海道支店	同	古島村口崎	(株) 金門製作所	北海道支店
同	田尾延幸	(株) 愛知時計電機	札幌支店	同	田尾延幸	(株) 愛知時計電機	札幌支店
同	小太林治	(株) ムト	西武百貨店札幌西武	同	太田豊隆	生活協同組合コープさっぽろ	トキコテクノ(株)北海道支店
同	丹谷隆行	(株) キョテック	(株) 北海道支店	同	東谷正樹	(株) 東急百貨店札幌店	千代田サービス販売(株)
同	荒羽則郎	(株) 東急百貨店	札幌店	同	岡本和男	(株) 寺岡北海道	計量士
同	法黒龍	(株) 寺岡量	北海道士	同	黒龍達	(株) タツノ・メカトロニクス	(株) 柿本商店
同	斉藤竹武	(株) タツノ・メカトロニクス	大谷商事(株)	同	大谷恒男	大谷商事	生活協同組合道央市民生協
同	遠藤恒男	(株) 丸竹遠田金物店		同	大友正広	計量士(コープさっぽろ)	丸大伊藤(株)
同	伊藤春夫	(株) 丸大伊藤	(株) 福西計量器店	同	伊藤智祐	(株) 福西計量器店	旭川支店
同	佐藤智正	(株) 今井金商	(株) 旭川計量機	同	佐藤木内	(株) 旭川計量機	千代田電装工業(株)
同	大茶山	(株) 旭川計量機	千代田電装工業(株)	同	市富山	(株) 丸ス新海金物店	(株) トガシ機工商會
同	市原幸	(株) 丸ス新海金物店	工商會	同	山佐藤	(株) カネイ山田商店	北光
同	岩塚晃一	(株) 函館タクシ	(株) 函館計測機	同	中岩上	(株) ヤマキ小	函館タクシ
同	本郷小八	(株) 函館計測機	函館支部	同	工藤小八	(株) 函館支部	函館カーサービス
同	藤原哲	(株) 函館カー	小	同	進藤勝哉	(株) 和	田所器械店
同	出藤征司	(株) 三ツ輪商	会興店	同	千葉國史	(株) 千	葉
同	田所和	(株) 田所器械		同	小澤山	(株) お	中ざわ
同	千山國史	(株) ヤマ	レ	同	桑原博行	(株) 桑原電装	磯角計測機(株)
同	小澤山	(株) お	ざわ	同	山土田	(株) 磯角計測機	
同	山下友彰	(株) 山角計測機	店(株)	同	二ノ宮昭三	(株) 山一熱	機器(株)
同	土田照博	(株) 磯角計測機	店(株)	監事	濱口龍司	環境コンサルタント(株) 函館営業所	(株) 山新計量器工業所
同	桑原電	(株) 磯角計測機	店(株)	同	山崎栄好	日本エンジニアサービス(株) 北海道支店	
同	二ノ宮昭三	(株) 山一熱	機器(株)	同	濱口龍司	環境コンサルタント(株) 函館営業所	(株) 山新計量器工業所
同	佐々木敏	(株) 山一熱	機器(株)	同	山崎栄好	日本エンジニアサービス(株) 北海道支店	
同	濱口龍司	(株) 山一熱	機器(株)	同	山崎栄好	日本エンジニアサービス(株) 北海道支店	
監事	濱口龍司	環境コンサルタント(株) 函館営業所	(株) 山新計量器工業所				
同	山崎栄好	日本エンジニアサービス(株) 函館営業所					

一般社団法人北海道計量協会 役員名簿

H19. 6. 25			H21. 6. 25		
役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
顧問	松本恒一	(株)日の丸産業社	顧問	松本恒一	(株)日の丸産業社
会長	山本論次	北海道イシダ(株)	会長	山本論次	北海道イシダ(株)
副会長	本谷令嘉	(株)土谷製作所	副会長	本谷令嘉	(株)土谷製作所
同	郷嘉彦	本郷計測機(株)	同	郷嘉彦	本郷計測機(株)
同	楠美秀義	(株)札幌東急ストア	同	楠美秀義	(株)札幌東急ストア
専務理事	氏山一夫	(株)北海道計量協会	専務理事	氏山一夫	(株)北海道計量協会
同	崎美伸	(株)金門製作所	同	崎美伸	(株)金門製作所
同	古川聡	(株)岩崎	同	古川聡	(株)岩崎
同	島崎浩	愛知時計電機(株)	同	島崎浩	愛知時計電機(株)
同	田尾延幸	(株)ムトウ	同	田尾延幸	(株)ムトウ
同	大藤雄三	生活協同組合コープさっぽろ	同	大藤雄三	生活協同組合コープさっぽろ
同	東正樹	トキコテクノ(株)	同	東正樹	トキコテクノ(株)
同	荒井幹史	(株)東急百貨店札幌店	同	荒井幹史	(株)東急百貨店札幌店
同	井上欣哉	千代田サービス販売(株)	同	井上欣哉	千代田サービス販売(株)
同	三辻橋俊夫	(株)寺岡北海道計量士	同	三辻橋俊夫	(株)寺岡北海道計量士
同	本本武晴	(株)タツノ・メカトロンクス	同	本本武晴	(株)タツノ・メカトロンクス
同	柿本恒男	(株)柿本商店	同	柿本恒男	(株)柿本商店
同	大山春栄	(株)大谷商事	同	大山春栄	(株)大谷商事
同		(株)山新計量器工業所	同		(株)山新計量器工業所
同		計量士(コープさっぽろ)	同		計量士(コープさっぽろ)
同	大伊藤正春	丸大伊藤(株)	同	大伊藤正春	丸大伊藤(株)
同	福西啓拓	(株)福西計量器店	同	福西啓拓	(株)福西計量器店
副会長	茶山内弘	旭川計量機(株)	副会長	茶山内弘	旭川計量機(株)
同	市原美栄	千代田電装工業(株)	同	市原美栄	千代田電装工業(株)
同	富樫幸	(株)丸ス新海金物店	同	富樫幸	(株)丸ス新海金物店
同	山田雄実	(株)トガシ機工商会	同	山田雄実	(株)トガシ機工商会
同	佐藤幸	(株)カネイ山田商店	同	佐藤幸	(株)カネイ山田商店
同		(株)北光	同		(株)北光
同	中原哲信	(株)ヤマキ小林	同	中原哲信	(株)ヤマキ小林
同	岩上小八	函館タクシナー(株)	同	岩上小八	函館タクシナー(株)
同	工藤重勝	函館支部副部長	同	工藤重勝	函館支部副部長
同		(有)函館カーサービス	同		(有)函館カーサービス
同	進藤幸哉	(株)和興	同	進藤幸哉	(株)和興
同	山本連治郎	室蘭計量機(株)	同	山本連治郎	室蘭計量機(株)
同		(株)ヤマレン	同		(株)ヤマレン
同	小澤良二	(株)おぎわ	同	小澤良二	(株)おぎわ
同	中山孝昭	(有)中山金物店	同	中山孝昭	(有)中山金物店
同	桑原博行	桑原電装機(株)	同	桑原博行	桑原電装機(株)
同	土田照美	磯角計測機(株)	同	土田照美	磯角計測機(株)
同		山一熱機器(株)	同		山一熱機器(株)
同	二ノ宮昭三	(株)和興	同	二ノ宮昭三	(株)和興
同		日本エンジニアサービス	同		日本エンジニアサービス
同		興石計量機(株)	同		興石計量機(株)
監事	濱口龍司	環境コンサルタント(株)	監事	濱口龍司	環境コンサルタント(株)
同	進藤素和	興石計量機(株)	同	進藤素和	興石計量機(株)
同	岸光	日本エンジニアサービス	同	岸光	日本エンジニアサービス

一般社団法人北海道計量協会 役員名簿

H23. 6. 25			H25. 6. 21		
役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会 長	山 本 論	北 海 道 イ シ ダ (株)	会 長	土 谷 令 次	(株) 土 谷 製 作 所
副 会 長	山 本 令 嘉 彦 一 夫	(株) 土 谷 製 作 所	副 会 長	土 谷 令 嘉 彦 一 夫	(株) 土 谷 製 作 所
同 事	山 本 美 家 口 尾 崎 幸 夫	(株) 東 光 ス ト	同 事	土 谷 美 家 口 尾 崎 幸 夫	(株) 東 光 ス ト
理 事	山 本 氏 古 田 宮 藤 荒 井 東 川 柿 山 高	(株) 北 海 道 計 量 協 会 (株) 岩 崎 ム ト 生 活 協 同 組 合 コ ー プ さ っ ぼ ろ ト キ コ テ ク ノ (株) 北 海 道 支 店 千 代 田 サ ー ビ ス 販 売 (株) (株) 寺 岡 北 海 道 (株) タ ッ ノ ・ メ カ ト ロ ニ ク ス (株) 柿 本 商 店 (株) 山 新 計 量 器 工 業 所 (株) 北 海 道 計 量 協 会	理 事	土 谷 令 嘉 彦 一 夫 土 谷 美 家 口 尾 崎 幸 夫 山 崎 田 口 尾 崎 幸 夫 古 田 宮 藤 荒 井 東 川 柿 山 高 目 安 金 内	(株) 山 新 計 量 器 工 業 所 (一 社) 北 海 道 計 量 協 会 (株) 岩 崎 ム ト 生 活 協 同 組 合 コ ー プ さ っ ぼ ろ ト キ コ テ ク ノ (株) 北 海 道 支 店 千 代 田 サ ー ビ ス 販 売 (株) (株) 寺 岡 北 海 道 (株) 柿 本 商 店 (一 社) 北 海 道 計 量 協 会 (一 社) 北 海 道 計 量 協 会 愛 知 時 計 電 機 (株) 札 幌 支 店
副 会 長	茶 木 拓 治	旭 川 計 量 機 (株)	副 会 長	中 原 哲 信	(株) ヤ マ キ 小 林
理 事	中 岩 工 藤	(株) ヤ マ キ 小 林 (株) 函 館 タ ク シ ー (株) 函 館 カ ー サ ー ビ ス	理 事	中 岩 工 藤	(株) ヤ マ キ 小 林 (株) 函 館 タ ク シ ー (株) 函 館 カ ー サ ー ビ ス
同 事	井 上 幸 司	室 蘭 計 量 機 (株)	同 事	井 上 幸 司	室 蘭 計 量 機 (株)
同 事	吉 澤 政 彦	吉 澤 商 事 (株)	同 事	吉 澤 政 彦	吉 澤 商 事 (株)
同 事	山 本 連 治 郎	(株) ヤ マ レ ン	同 事	山 本 連 治 郎	(株) ヤ マ レ ン
同 事	中 山 孝 昭	(株) 中 山 金 物 店	同 事	中 山 孝 昭	(株) 中 山 金 物 店
同 事	土 田 照 美	磯 角 計 測 機 (株)	同 事	土 田 照 美	磯 角 計 測 機 (株)
同 事	二ノ宮 永 助	山 一 熱 器 機 (株)	同 事	二ノ宮 永 助	山 一 熱 器 機 (株)
監 事	島 崎 浩 彦	愛 知 時 計 電 機 (株) 札 幌 支 店	監 事	柘 田 和 彦	(株) タ ッ ノ 北 海 道 支 店
同 事	柘 田 和 素	日 本 エ ン ジ ニ ヤ ー サ ー ビ ス (株) 北 海 道 支 店	同 事	柘 田 和 素	(株) 奥 石 計 量 機 (株)
同 事	進 藤 素 和	興 石 計 量 機 (株)			

一般社団法人北海道計量協会 役員名簿

H26. 6. 27				H27. 6. 19			
役 職	氏 名	所	属	役 職	氏 名	所	属
会 長	次彦一治	(株) 土谷製作所	札幌支店	会 長	次彦一治	(株) 土谷製作所	札幌支店
副 会 長	谷嘉秀	(株) 東光ストア	旭川計量機	副 会 長	谷嘉秀	(株) 東光ストア	旭川計量機
同 同	木家義夫	(株) 山新計量器工業所	札幌支店	同 同	木村一聡	(株) 山新計量器工業所	札幌支店
同 同	山口宏一	(株) (一社) 北海道計量協会	岩崎	同 同	山口幸夫	(株) (一社) 北海道計量協会	岩崎
専務理事	村口順一	(株) ムトウ	生活協同組合コープさっぽろ	専務理事	村口順一	(株) ムトウ	生活協同組合コープさっぽろ
同 同	古田延幸	(株) トキコテクノ	北海道支店	同 同	古田延幸	(株) トキコテクノ	北海道支店
同 同	田宮雄三郎	(株) 寺岡北海道	支店	同 同	田宮雄三郎	(株) 寺岡北海道	支店
同 同	荒井上欣哉	(株) 柿本商店	(一社) 北海道計量協会	同 同	荒井上欣哉	(株) 柿本商店	(一社) 北海道計量協会
同 同	藤田武昭	(株) 愛知時計電機	札幌支店	同 同	藤田武昭	(株) 愛知時計電機	札幌支店
同 同	井内哲一	(株) ヤマキ小林	函館タクシー	同 同	井内哲一	(株) ヤマキ小林	函館タクシー
同 同	原塚晃一	(株) 函館カーサービス		同 同	原塚晃一	(株) 函館カーサービス	
同 同	井上幸司	室蘭計量機	(株) 室蘭計量紙	同 同	井上幸司	室蘭計量機	(株) 室蘭計量紙
同 同	吉澤政彦	(株) ヤマレン		同 同	吉澤政彦	(株) ヤマレン	
同 同	山本連治郎	(株) 中山金物店		同 同	山本連治郎	(株) 中山金物店	
同 同	中山孝昭	(株) 磯角計測機		同 同	中山孝昭	(株) 磯角計測機	
同 同	土田照美	(株) 山一熱器機		同 同	土田照美	(株) 山一熱器機	
同 同	二ノ宮永助	(株) タツノ北海道支店		同 同	二ノ宮永助	(株) タツノ北海道支店	
監 事	和彦	(株) 興石計量機	札幌支店	監 事	和彦	(株) 興石計量機	札幌支店
同 同	藤素和	(株) タツノ北海道支店		同 同	藤素和	(株) タツノ北海道支店	

一般社団法人北海道計量協会 役員名簿

H28. 6. 10				H29. 6. 9			
役 職	氏 名	所	属	役 職	氏 名	所	属
会 長	土 谷 令 次	(株) 土 谷 製 作 所	店	会 長	本 郷 嘉 彦	本 郷 計 測 機 械 (株) 札 幌 支 店	店
副 会 長	本 郷 嘉 彦	(株) 本 郷 計 測 機 械 (株) 札 幌 支 店	店	副 会 長	本 郷 嘉 彦	(株) 本 郷 計 測 機 械 (株) 札 幌 支 店	店
同 同	楠 美 秀 一	(株) 旭 川 計 量 機 械 (株) 旭 川 支 店	店	同 同	楠 美 秀 一	(株) 旭 川 計 量 機 械 (株) 旭 川 支 店	店
専 務 理 事	中 村 拓 順	(一社) 北 海 道 計 量 協 会		同 同	中 山 武 孝	(有) 中 山 金 物 店	店
同 同	古 宮 幸 夫	(株) 岩 崎 生 活 協 同 組 合 コ ー プ さ っ ぽ ろ		同 同	中 土 谷 令 次	(株) 土 谷 製 作 所	店
同 同	荒 岡 幸 幹	千 代 田 サ ー ビ ス 販 売 (株)		同 同	古 口 幹 史	(株) 千 代 田 サ ー ビ ス 販 売 (株)	店
同 同	井 上 欣 哉	(株) 寺 岡 北 海 道		同 同	荒 岡 幹 史	興 石 計 量 機 械 (株)	店
同 同	金 内 廣 恒	愛 知 時 計 電 機 (株) 札 幌 支 店	店	同 同	進 藤 素 和	愛 知 時 計 電 機 (株) 札 幌 支 店	店
同 同	柿 本 武 敏	(株) 柿 本 商 店		同 同	金 工 藤 真 二	日 立 オ ー ト モ テ ィ ー ブ シ ス	
同 同	工 藤 真 二	日 立 オ ー ト モ テ ィ ー ブ シ ス		同 同	工 藤 真 二	日 立 オ ー ト モ テ ィ ー ブ シ ス	
同	渡 辺 栄 司	テ ム ズ メ ジ ャ メ ン ト (株)		同 同	渡 辺 栄 司	ア ズ ビ ル 金 門 (株) 札 幌 支 店	店
同 同	中 原 哲 信	(株) ヤ マ キ 小 林		同 同	前 田 博 幸	生 活 協 同 組 合 コ ー プ さ っ ぽ ろ	
同 同	岩 塚 晃 一	函 館 タ ク シ ー (株)		同 同	山 下 俊 治	(株) ム ト ウ	
同 同	工 藤 勝 一	(有) 函 館 カ ー サ ー ビ ス		同 同	西 垣 次 浩	(一財) 日 本 穀 物 検 定 協 会	
同 同	井 上 幸 司	室 蘭 計 量 (株)	店	同 同	中 原 哲 信	(株) ヤ マ キ 小 林	
同 同	平 林 滋 明	(株) 平 林 紙 店	店	同 同	工 藤 勝 一	函 館 タ ク シ ー (株)	
同 同	山 本 連 治 郎	(株) ヤ マ レ ン		同 同	井 上 幸 司	室 蘭 計 量 (株)	店
同 同	中 山 孝 昭	(有) 中 山 金 物 店		同 同	平 林 滋 明	(株) 平 林 紙 店	店
同 同	幸 村 博 行	桑 原 電 装 (株)		同	幸 村 博 行	桑 原 電 装 (株)	
同 同	二ノ宮 永 助	山 一 熱 器 機 械 (株)		同	二ノ宮 永 助	山 一 熱 器 機 械 (株)	
監 事	進 藤 素 和	興 石 計 量 機 械 (株)		監 事	井 上 欣 哉	(株) 寺 岡 北 海 道	
同	横 山 安 照	(株) タ ッ ノ 北 海 道 支 店		同	横 山 安 照	(株) タ ッ ノ 北 海 道 支 店	

一般社団法人北海道計量協会 役員名簿

H30. 6. 15				R元. 6. 14			
役 職	氏 名	所	属	役 職	氏 名	所	属
会 長	本 郷 嘉 彦	本 郷 計 測 機 械 札 幌 支 店	店	会 長	本 郷 嘉 彦	本 郷 計 測 機 械 札 幌 支 店	店
副 会 長	楠 美 秀 一	(株) 東 光 ス ト	ア	副 会 長	楠 美 秀 一	(株) 東 光 ス ト	ア
同 同	茶 木 恒 昭	旭 川 計 量 機 械 本 店	(株) 店	同 同	茶 木 恒 昭	旭 川 計 量 機 械 本 店	(株) 店
同 同	中 山 孝 昭	(有) 中 山 金 物 店	店	同 同	中 山 孝 昭	(有) 中 山 金 物 店	店
専 務 理 事	中 村 順 次	(一社) 北 海 道 計 量 協 会	会 社	専 務 理 事	星 昌 浩	(一社) 北 海 道 計 量 協 会	会 社
同 同	土 谷 令	(株) 土 谷 製 作 所	所	同 同	土 谷 令	(株) 土 谷 製 作 所	所
同 同	古 岡 幹 史	(株) 千 代 田 サ ー ビ ス 販 売	(株) 崎	同 同	古 岡 幹 史	(株) 千 代 田 サ ー ビ ス 販 売	(株) 崎
同 同	進 藤 素 和	興 石 計 量 機 械	(株) 店	同 同	進 藤 素 和	興 石 計 量 機 械	(株) 店
同 同	西 館 孝 明	愛 知 時 計 電 機	(株) 支 店	同 同	西 館 孝 明	愛 知 時 計 電 機	(株) 支 店
同 同	工 藤 真 二	日 立 オ ー ト モ テ ィ ー プ シ ス	支 店	同 同	工 藤 真 二	日 立 オ ー ト モ テ ィ ー プ シ ス	支 店
同 同	渡 辺 栄 司	アズビル金門(株)札幌支店	支 店	同 同	渡 辺 栄 司	アズビル金門(株)札幌支店	支 店
同 同	前 田 博 幸	生活協同組合コープさっぽろ	(株) 支 店	同 同	前 田 博 幸	生活協同組合コープさっぽろ	(株) 支 店
同 同	山 下 俊 治	(株) ム ト ウ	支 店	同 同	山 下 俊 治	(株) ム ト ウ	支 店
同 同	椎 名 次 男	(一財) 日 本 穀 物 検 定 協 会	支 店	同 同	西 垣 浩	(株) クボタ計装北海道支店	支 店
同 同	西 垣 浩	(株) クボタ計装北海道支店	支 店	同 同	笠 井 剛	北 海 道 イ シ ダ	(株) 支 店
同 同	笠 井 剛	北 海 道 イ シ ダ	(株) 支 店	同 同	中 原 哲 信	(株) ヤマキ小	林
同 同	中 原 哲 信	(株) ヤマキ小	林	同 同	岩 塚 晃 一	函 館 タ ク シ ー	(株) 支 店
同 同	岩 塚 晃 一	(有) 函 館 カ ー サ ー ビ ス	支 店	同 同	工 藤 勝	(有) 函 館 カ ー サ ー ビ ス	支 店
同 同	井 上 幸 司	室 蘭 計 量 機 械	(株) 支 店	同 同	井 上 幸 司	室 蘭 計 量 機 械	(株) 支 店
同 同	平 林 滋	(株) 平 林 紙	支 店	同 同	菅 原 文 夫	桑 原 電 装	(株) 支 店
同 同	菅 原 文 夫	桑 原 電 装	(株) 支 店	同 同	二ノ宮 永助	山 一 熱 器 機 械	(株) 支 店
同 同	二ノ宮 永助	山 一 熱 器 機 械	(株) 支 店	同 同	井 上 欣 哉	(株) 寺岡北海道支店	支 店
監 事	井 上 欣 哉	(株) 寺岡北海道支店	支 店	監 事	井 上 欣 哉	(株) 寺岡北海道支店	支 店
同 同	村 上 直	(株) タツノ北海道支店	支 店	同 同	村 上 直	(株) タツノ北海道支店	支 店

一般社団法人北海道計量協会
創立100周年にむけて…

表彰者一覧表

(東北六県・北海道計量協会連合会会長表彰)

((一社)日本計量振興協会会長表彰)

(経済産業大臣表彰)

100th
anniversary

表彰者一覧表

東北六県北海道計量協会連合会 会長				(一社)日本計量振興協会 会長				経 済 産 業 大 臣	
年次	年月日	場所	受 賞 者	年次	年月日	受 賞 者	計量士会推薦	年月日	受 賞 者
38	H 1. 7	宮 城	進藤禎三			なし	なし		なし
39			なし			なし	なし		なし
40	H 3. 7	岩 手	なし	78	H 3. 5	なし	道見孝雄		なし
41	H 4. 7	福 島	山崎 高	79	H 4. 5	進藤禎三	なし		なし
42	H 5. 7	北海道	松本恒一	80		なし	本郷博久		なし
			なし	81	H 6. 5	山崎 高	なし	H 6. 11. 1	茶木豊治
			なし	82	H 7. 5	なし	粟津 聡	H 7. 11. 1	三橋俊夫
			なし	83	H 8. 5	なし	山谷昭徳	H 8. 11. 1	黒龍良英 大友正廣
46	H 9. 7. 15	秋 田	土谷令次 島崎 浩 渡部正治 (感)	84	H 9. 5. 23	濱口龍司 遠田竹蔵	なし		なし
47	H10. 7. 23	岩 手	石井栄美 山本連一 高橋吉信 (感)	85	H10. 5. 22	前田義彦 土谷令次	なし		なし
48	H11. 10. 7	福 島	中保 正 本郷喜久恵 谷内 繁 (感)	86	H11. 5. 26	森谷拓夫 吉田明元	江戸忠義	H11. 11. 1	谷内 繁
49	H12. 7. 13	北海道	松浦 貢 櫛田久雄 荒岡幹史郎	1	H12. 6. 9	山本連一 本郷喜久恵	なし		なし
50	H13. 8. 2	青 森	田尾延幸 (特別) 大谷春男 布施千鶴子 (感)	2	H13. 5. 24	中村昭治	川村信雄	H13. 11. 1	早藤多賀子 (検定所)
51	H14. 7. 25	山 形	熊谷 隆 後藤重信	3	H14. 5. 29	山本 諭	茶木拓治	H14. 11. 1	山崎 高 (副会長他) 進藤禎三 (計量士会顧問) 有馬孝政 (小樽市) 濱 輝雄 (函館市)
52	H15. 8. 7	宮 城	柿本武恒 山下友彰	4	H15. 5. 25	中原哲信	なし	H15. 11. 1	本郷喜久恵 (理事)
53	H16. 10. 14	秋 田	野口要治郎	5	H16. 5. 26	柿本武恒	なし	H16. 11. 1	山本 諭 (会長、日計振推薦) 千葉國史 (理事)
54	H17. 10. 5	岩 手	中山孝昭	6	H17. 5. 26	山下友彰	なし	H17. 11. 1	土谷令次 (副会長) 濱口龍司 (監事)
55	H18. 10. 11	福 島	市原顕美 興石昭夫	7	H18. 5. 26	島崎 浩	なし	H18. 11. 1	茶木拓治 中原哲信
56	H19. 10	北海道	本郷嘉彦	8	H19. 5	荒岡幹史郎	なし	H19. 11. 1	柿本武恒
57	H20. 10	青 森	土田照美	9	H20. 5	中山孝昭	なし	H20. 11. 1	島崎 浩
58	H21. 10	山 形	進藤勝哉	10	H21. 5	野口要治郎	なし	H21. 11. 2	荒岡幹史郎
59	H22. 10	宮 城	工藤 勝	11	H22. 5	本郷嘉彦	なし	H22. 11. 1	中山孝昭
60	H23. 10	秋 田	井上幸司	12	H23. 5	興石昭夫	なし	H23. 11	本郷嘉彦

表彰者一覧表

61	H24.10	岩手	小森信昭	13	H24.5	工藤 勝	鈴木公利	H24.11	興石昭夫
62	H25.10	福島	なし	14	H25.5	井上幸司	なし	H25.11	工藤 勝
63	H26.10	北海道	楠美秀一 岩塚晃一	15	H26.5	田尾延幸	鈴木喬光	H26.11	野口要治郎
64	H27.10	青森	山本連治郎	16	H27.5	小森信昭	なし	H27.11	井上幸司
65	H28.10	山形	二ノ宮永助 遠藤尚季 (はかり工業会)	17	H28.5	岩塚晃一	倉橋宏光	H28.11	なし
66	H29.10	宮城	進藤素和	18	H29.5	古口 聡	佐々木博美	H29.11	なし
67	H30.10	秋田	井上欣哉 池田静治 (はかり工業会)	19	H30.5	なし	福西厚三	H30.11	なし
68	R1.10	岩手	鍛冶祐司 (はかり工業会)	20	R1.5	二ノ宮永助	荒井正夫	R1.11	なし

あとがき(編集後記)

一般社団法人北海道計量協会

専務理事 星 昌 浩

当協会のこれまでの足跡については、平成2年に「計量七十年のあゆみ」として、それまでの歴史を一冊に書き留めております。このため、今回の記念誌はそれ以降の平成のあゆみを綴りました。平成以降と言っても30年以上の月日が流れており、その歴史を紐解くことは中々難しいことではありましたが、本誌52頁に掲載していますように、当協会には、大正9年発行の「会報 第壱号」そして現在の広報紙「計量だより 第一号」以降が現存しています。その貴重な資料などを参考にしながら今回の編纂に取り組みました。物持ちの良い歴代の協会職員に感謝します。

さて、今回の記念誌は短い期間での作業となりましたが、そんな中でも印象に残るものごと計量記念日の啓発グッズとして作っているポケットティッシュのデザインを掲載しました。これも協会の歴史です。記憶にあるデザインもあるのではないのでしょうか。

記念誌を作成するにあたり、これまでの100年を振り返り、そして、これからの50年、100年へと未来に向けて、変わらぬ「計量」を引き継いで行かなければならないという思いです。

終わりになりますが、本記念誌の作成に携わっていただいた多くの皆様に感謝を申し上げます。

製作編集委員

星 昌 浩 ((一社)北海道計量協会 専務理事)
長谷川 泰 仁 (北海道計量検定所)
藤 野 豊 彦 (“)
佐 藤 守 昭 (北海道計量士会)
杉 本 茂 夫 (“)
馬 場 孝 司 ((一社)北海道計量協会)
福 島 務 (“)
河 内 光 男 (“)
安 井 礼 子 (“)

作成・発刊 令和2年6月12日
(一社)北海道計量協会

編集責任者 星 昌 浩
TEL(011)572-1773

印刷所 漸 株式会社
札幌市豊平区豊平3条12丁目1-16
TEL(011)821-7413

